

# 日医総研ワーキングペーパー

レセプト情報等データベース活用の一例：  
高齢者医薬品適正使用のための  
エビデンスの構築

No. 408

2018年5月15日

レセプト情報等データベース活用の一例：

高齢者医薬品適正使用のためのエビデンスの構築

日本医師会総合政策研究機構  
協力：日本医師会薬務対策室

上家 和子

キーワード

◆レセプト情報等データベース(NDB)

◆集計表データ

◆高齢者

◆医薬品使用状況

◆STOPP-J

ポイント

◆レセプト情報等データベース(NDB)

NDBの第三者提供が本格的に開始されて2年経過しているが、その利用は行政機関や一部の大学等に限定されていた。

◆集計表提供申請

第三者提供の方法のうち集計表提供は、申請時点でレセプト情報の特性を踏まえて結果表を想定していなければならない一方、抽出作業をデータセンターが実施することから、比較的短期間に結果を得ることが可能である。

◆高齢者の医薬品使用の状況

高齢者の医薬品使用については一部の医療機関データしかなく、エビデンスは不十分であった。今回、NDBを利用することで、現状の一端が明らかとなった。

・75歳以上では人口の半数以上が少なくとも対象とした1か月間に調剤医薬品を使用しており、その割合は平成23年よりも平成27年のほうが高くなっている。

・医薬品種類数度数最大値は2剤で、年齢階級があがるにつれて増えている。

・日本老年医学会の75歳以上の高齢者に対して「特に慎重な投与を要する薬物のリスト(STOPP-J)」掲載対象薬効群内においても年齢階級があがるにつれて複数使用が増えている薬効群がある。

◆検討課題

1. NDB データ活用の利点と限界：極めて検出力の高いツールであるが、臨床疫学からのアプローチにおいて異なる領域であるレセプト情報の特性の理解が必須である。
2. 高齢者の医薬品適正使用に向けての対応：医師・医療機関、薬剤師・薬局のみならず、国民の受療行動、薬局利用動向における取り組みが必要ではないか。また、一部の薬効医薬品についてはとくに高齢者の使用を前提とした開発が必要ではないか。

## 目 次

1. はじめに	1
2. レセプト情報等データベースについて	2
2.1. レセプト情報等データベース (NDB)	2
2.2. 提供されるデータ	4
2.3. 必要な施設・設備と申請手続き	5
3. 高齢者の医薬品使用に関するエビデンス	8
3.1. 現状と分析	8
3.2. 特に慎重な投与を要する薬物のリスト (STOPP-J)	10
3.3. 予後を左右する特定の慢性疾患・病態群	11
4. 集計表の設計	12
4.1. 基礎情報収集のための NDB の活用の可能性と限界	12
4.2. 提供申請方式の選択	14
4.3. 集計表の設計	15
4.4. 申請した集計表の構造	27
5. 結果	29
5.1. 年齢階級別人口に占める今回の対象者数	29
5.2. 年齢階級別にみた高齢者の疾患数と使用内服医薬品種類累計数	31
5.3. STOPP-J 対象医薬品の使用状況	43
5.4. 特定の疾患群の状況	50
6. まとめと考察	55
6.1. 高齢者の医薬品使用の状況	55
6.2. 集計表提供による NDB データの活用について	55
7. 提供された集計表 (本編で加工せずそのまま掲載したものを除く)	56
8. 関連資料	66

## 1. はじめに

レセプト情報・特定健診等情報データベース(NDB)は、高齢者の医療の確保に関する法律(平成 20 (2008)年 4 月施行)に基づいて、医療費適正化計画の作成、実施及び評価のための調査や分析などに用いるために、厚生労働省が格納・構築しているデータベースである。

医療費適正化計画に関連する調査や分析以外にも、医療サービスの質の向上などを目指し、正確なエビデンスに基づいた施策を推進するために活用すべく、平成 22 (2010)年 6 月 22 日に閣議決定された「新たな情報通信技術戦略工程表」(高度情報通信ネットワーク社会推進戦略本部(IT 戦略本部)決定)において、NDB 情報の提供のためのルールを整備し、提供を開始することが定められた。

これを受けて、厚生労働省では平成 23 (2011)年度に「レセプト情報等の提供に関する有識者会議」を設置し、データ利用に向けた「レセプト情報・特定健診等情報の提供に関するガイドライン」の整備を行うとともに、NDB 情報の第三者提供を試行的に開始し、平成 25 (2013)年度から本格実施している。

厚労省医薬・生活衛生局では平成 29 (2017)年度から高齢者医薬品適正使用検討会を開催している。高齢者の多剤使用は『老年症候群』を引き起こす要因という指摘もあるが、一部の医療機関データでは医療機関による偏りが否定できず、エビデンスは不十分である。また、薬剤師の調整機能に期待する意見もあるが、複数薬局利用の実態も明らかとなっていない。

NDB には電子化されたすべてのレセプトが集められており、電子化は医療機関及び薬局の 9 割以上が対応している。したがって、生活保護の医療扶助、自動車損害賠償責任保険、労災保険、自由診療を除く、ほぼすべての診療費情報が含まれており、高齢者の医薬品使用や薬局利用の実態について、広くわが国全体の動向を把握できる可能性がある。

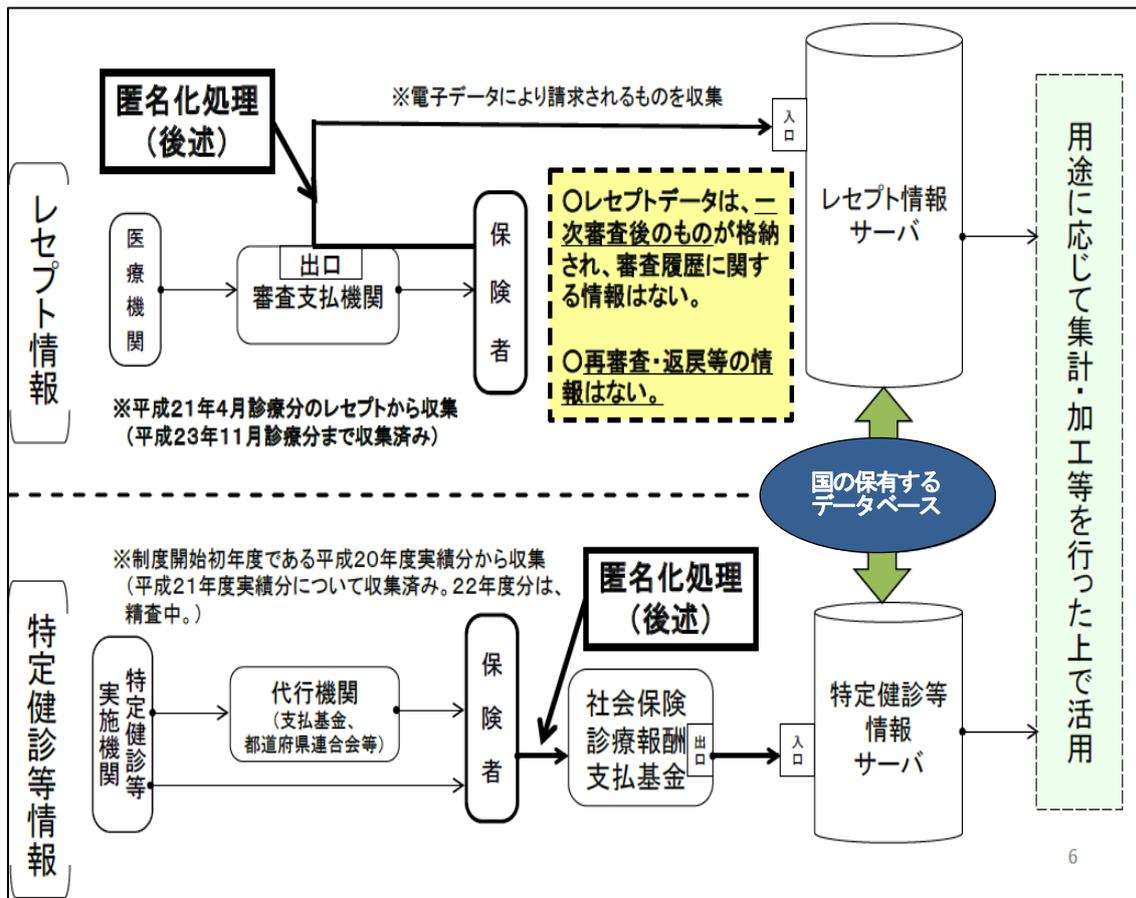
そこで今回、NDB 活用の一例として、高齢者医薬品使用の実態を把握し、課題を整理することとした。

## 2. レセプト情報等データベースについて

### 2.1. レセプト情報等データベース(NDB)

レセプト情報・特定健診等情報データベース(NDB)は、平成 20 (2008)年 4 月から施行されている「高齢者の医療の確保に関する法律」に基づいて、医療費適正化計画の作成、実施及び評価のための調査や分析などに用いるデータベースとして、レセプト情報及び特定健診・特定保健指導情報を厚生労働省が格納・構築している。全保険者・負担者の電子レセプトが格納されていることから、ほぼ悉皆のデータである。

図表 2-1-1. レセプト情報・特定健診等情報の収集経路



<http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-12400000-Hokenkyoku/0000117728.pdf>

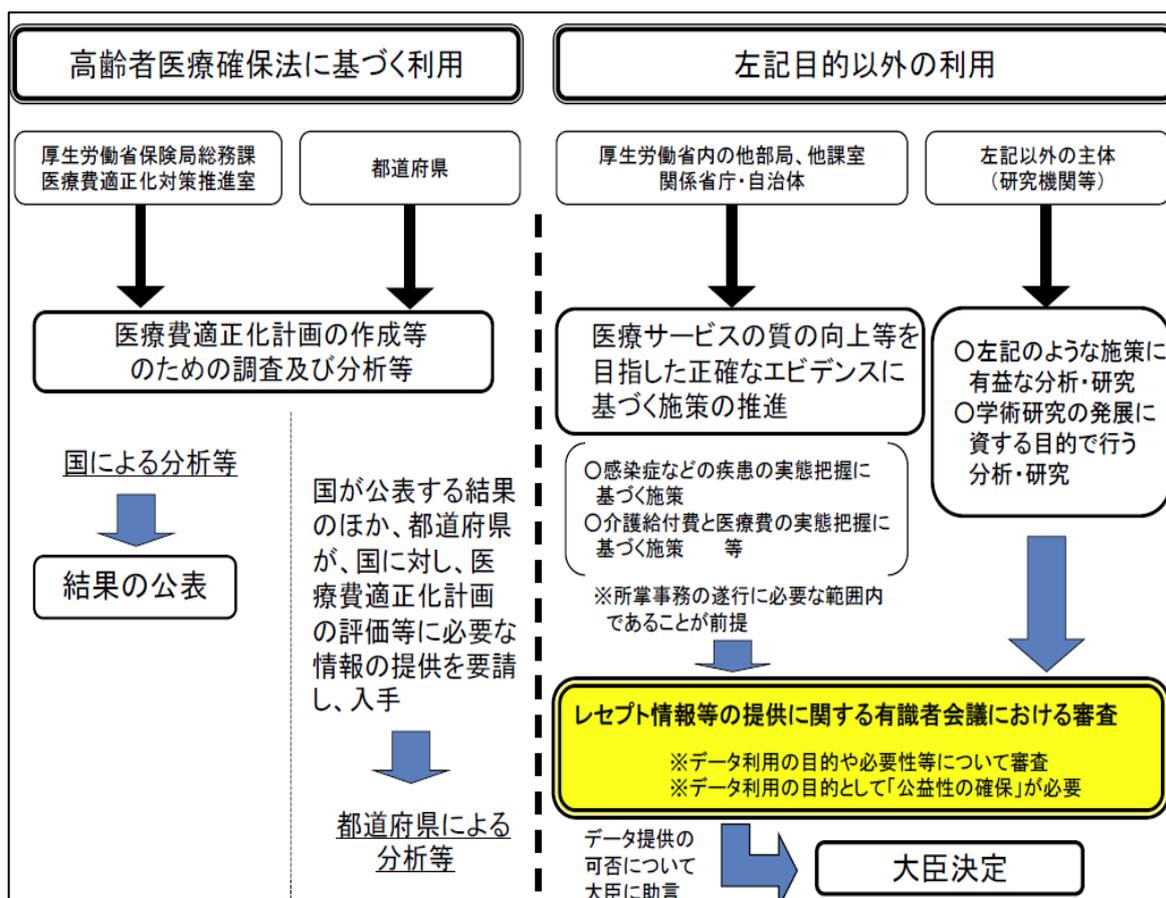
2016年3月1日発行(第2版)より

医療費適正化計画に関連する調査や分析以外にも、医療サービスの質の向上などを目指し、正確なエビデンスに基づいた施策を推進するために活用すべく、平成 22 (2010) 年 6 月 22 日に閣議決定された「新たな情報通信技術戦略工程表」(高度情報通信ネットワーク社会推進戦略本部(IT 戦略本部)決定)において、レセプト情報等の提供のためのルールを整備し、提供を開始することが定められた。

厚生労働省では、これを受けて平成 23 (2011)年度から「レセプト情報等の提供に関する有識者会議」を設置し、第三者提供に向けた「レセプト情報・特定健診等情報の提供に関するガイドライン」の整備を行い、平成 25 (2013)年度から本格実施を開始した。

NDB 情報の利用申請においては、申出の目的と分析項目の明確化、それらを踏まえた各種書類の整備状況、利用場所のセキュリティ要件等が厳格に審査され、結果公開に對して、匿名化要件がある。

図表 2-1-2. レセプト情報・特定健診等情報データベースの利用



<http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-12400000-Hokenkyoku/0000117728.pdf>  
2016年3月1日発行(第2版)より

## 2.2. 提供されるデータ

提供される方式は、特別抽出、サンプリングデータセット、集計表情報の3種類となっている。このうち、特別抽出は、提供依頼申出者の指定した抽出条件に従ってNDBから抽出したデータが、その後、加工、集計が可能なファイルとして提供される。サンプリングデータセットは、レセプト情報から予め一定程度の割合で抽出したデータに対して、さらに安全性に配慮した工夫を施したうえで提供されるデータセットであり、その後、加工することはできない。集計表情報は、提供依頼申出者の指定した抽出条件及び集計条件に従って、提供側で、抽出したデータに対して一定の集計処理を加え集計表を作成して提供される。集計対象項目は、原則として傷病名コード等に限定され、それらに対して性別、年齢階級別、都道府県別等、原則3次元までとされており、それ以上複雑な集計表は承諾されない。

図表 2-2-1. 提供される各情報の特徴

	特別抽出	サンプリングデータセット	集計表情報
提供データ	・個票	・個票	・集計表
研究内容・抽出条件に対する審査	<ul style="list-style-type: none"> <li>研究内容の公益性を求める</li> <li>研究内容の限定性を求める</li> <li>申出の際に示す公表物の例に対し、申出内容を反映した網羅性を求める</li> <li>指示された抽出条件と、研究内容や想定される公表物の事例とが一致するかどうかを審査する</li> <li>コードのすべてを用いる探索的研究は、原則として認めない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>研究内容の公益性を求める</li> <li>研究内容の限定性は、それほど求めない</li> <li>探索的研究を認める</li> <li>抽出条件の指示は不要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>研究内容の公益性を求める</li> <li>作成予定の公表物を提出し、事務局・データセンターにおいてその空欄を埋める</li> <li>集計表作成のための抽出条件を求めるとともに、その抽出条件が申出内容に合致するものであるかどうかを審査する</li> </ul>
セキュリティ要件に対する審査	利用環境のセキュリティが確保されているかどうかを審査する	利用環境のセキュリティが確保されているかどうかを審査する	利用環境のセキュリティが確保されているかどうかを審査する
利用環境の実地調査	・原則行う	・原則行わない	・原則行わない
承諾後データ提供までのスピード	・手続き終了後も、本来業務など他の作業の合間に行われるため、遅延の可能性はある	・手続き終了後は、抽出されたデータを複写するのみなので提供は比較的スムーズ	・手続き終了後も、本来業務など他の作業の合間に行われるため、遅延の可能性はある
時系列での分析	・可能	・不可能	・集計軸に時系列を含めれば可能
地域単位の分析	・可能(都道府県単位まで。ただし提供依頼申出者が独自の割付表を準備できた場合は、審査により承諾される可能性がある)	・不可能	・可能(都道府県単位まで)
想定される研究イメージ	・すでに小規模のレセプト分析である程度の知見を導いており、これを全国規模のデータで検証する研究を行う場合	・ある時点における患者像や治療の傾向についての概略を把握する研究を行う場合	・レセプトで評価できる全国規模の集計情報を、資料として必要とする場合
想定される利用者像	・レセプト研究に一定の知見があり、申出内容や 抽出条件を吟味し、大量のデータを高速に処理することを想定している利用者	・レセプト研究に関心はあるが経験がまだ十分でなく、データの特徴や各項目の概要を把握したいと考えている利用者	・集計結果のみを必要とし、分析することを想定していない利用者

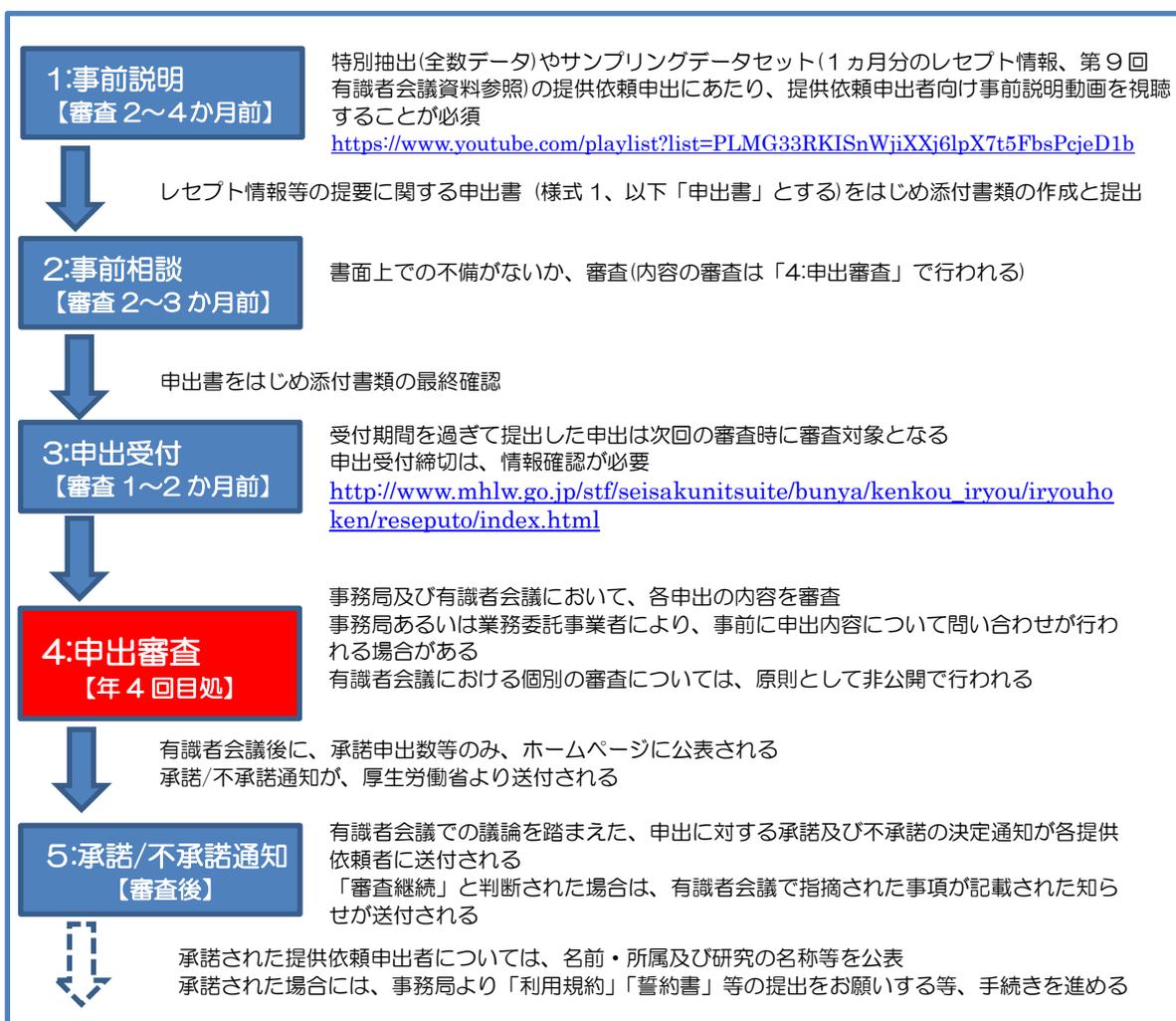
<http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-12400000-Hokenkyoku/0000117728.pdf> より作成

2018年5月現在

## 2.3. 必要な施設・設備と申請手続き

申請手続きには7か月から1年を要す。提供依頼に必要な申請書類は各方式によって異なる。手続きの期間と煩雑さはNDB情報の利用を困難にしている面があるが、一方で、データ活用を厳密に管理することで、高齢者の医療の確保に関する法律に基づいた「保険者及び後期高齢者医療広域連合が厚生労働大臣に提供する情報の利用及び提供に関する指針」(以下、「指針」という)にもとづく事務処理の明確化、標準化を担保している。なかでも、必要不可欠なのが、提供されたデータを扱うためのセキュリティを高めた個室とスタンドアローンのICT器材である。

図表 2-3-1. 具体的手続きのながれ



<http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-12400000-Hokenkyoku/0000117728.pdf> より作成  
2018年5月現在

有識者会議は、合議により NDB 情報の提供の可否について厚生労働大臣へ意見を述べ、指針に規定された有識者から構成される会議であり、有識者会議における申出審査は、年4回(6月、9月、12月、3月)を目処に行われている。

図表 2-3-2. 提供依頼申出者において準備すべき書類

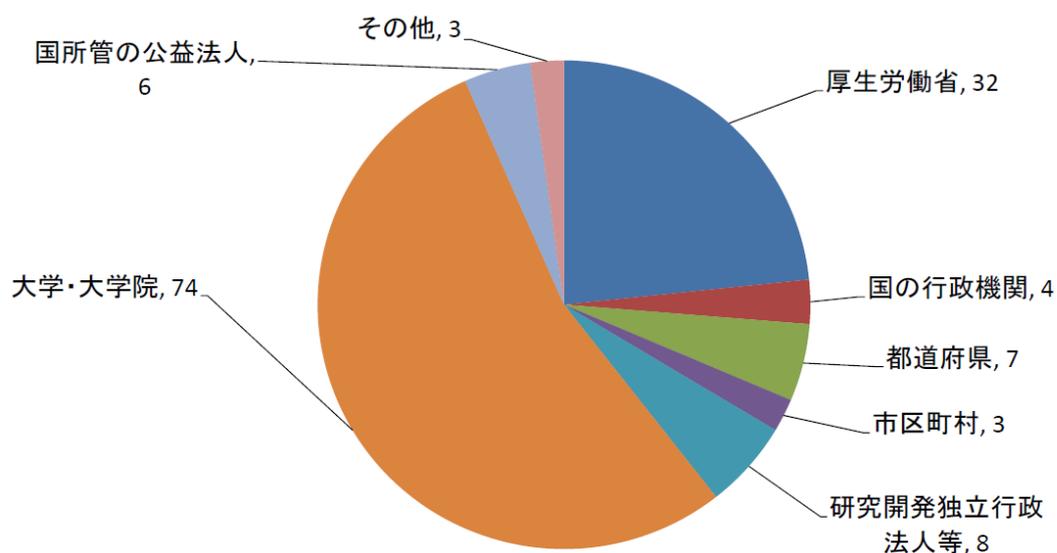
申請書類			提要データ毎 申請書類一式			
様式/別添	書類題目	備考	特別抽出	集計表情報	サンプリング	
指定	様式 1	レセプト情報等の提供に関する申出書	●	●	●	
	様式 1-1	レセプト情報等を利用した研究に関する承認書	●	●	●	
書式自由	別添 1	本人確認、本人所属確認ができるものの写し	●	●	●	
	別添 2-1	運用フロー図	●	●	●	
	別添 2-2	リスク分析・対応表	●	●	●	
	別添 2-3	運用管理規定	●	●	●	
	別添 2-4	自己点検規定	●	●	●	
	別添 3	所属組織の個人情報保護に関する規定 (プライバシーポリシー、情報セキュリティポリシー等)	提出は任意 複数種ある場合は、別添 3-1、別添 3-2…として提出	○	○	○
	別添 4	厚労科研交付通知など 公共性の高い研究であることを示唆する書類	提出は任意	○	○	○
	別添 5	提供依頼申出書における 過去の研究実績を証明するもの(論文の写し等)	提出は任意 提供依頼申出者の名前および論文表題など、提供依頼申出者の 実績であることが確認できる箇所のみ提出	○	○	○
	別添 6	外部委託先との守秘義務契約の写し	外部委託がある場合(データ集計の技術的支援等)のみ提出	※	※	※
別添 7	倫理委員会承認書の写し	特別抽出を依頼する場合のみ提出	●	-	-	
指定	別添 8	申出依頼テンプレート(抽出)←特別抽出用 申出依頼テンプレート(集計)←集計表情報用	●	●	-	
書式自由	別添 9	詳細な公表形式	●	●	-	
	その他	その他適宜必要な書類	○	○	○	

● 提出必須 ○ 提出任意 ※ 該当時提出必須

<http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-12400000-Hokenkyoku/0000117728.pdf> より作成  
2018年5月現在

NDBの第三者提供が本格的に開始されて2年経過しているが、情報発生源であるレセプトの特性と利用可能な研究イメージが具体化されていないなか、セキュリティ要件や審査手続きの厳格さもあいまって、これまでのところ、その利用は行政機関や一部の大学等に限られていた。平成29(2017)年3月時点で審査が終了し、承諾された件数は137件であるが、内訳は、厚生労働省をはじめ、国および地方行政機関が46件、研究開発独立行政法人および大学・大学院等が82件、国所管の公益法人6件、その他3件であった。

図表 2-3-3. 承諾件数 計 137 件(平成 29 年 3 月審査終了時点)



注) 「その他」は、提供されたデータを用いた研究の実施に要する費用の全部又は一部を国の行政機関や研究開発独立行政法人等から補助されている者等である。

### 3. 高齢者の医薬品使用に関するエビデンス

#### 3.1. 現状と分析

厚生労働省医薬・生活衛生局では、平成 29 (2017)年度から高齢者医薬品適正使用検討会を開催している。この検討会を設置するにあたって、事務局では、「高齢者の医薬品適正使用に関する検討課題と今後の進め方について」<sup>1)</sup>のなかで、高齢者の薬物療法の現状と分析として、以下のようにまとめている。

高齢者の薬物療法安全性を確保する観点から、これまでに得られている調査研究の範囲の中で薬物療法現状を整理すると、次のような傾向が見られている。

- 高齢者が服用する薬剤数は、60 歳前後を境に低年齢層に比較して増大する傾向があり、75 歳以上でより多い傾向があること。
- 多剤服用【ポリファーマシー】の患者は、複数の疾患を有しているために複数医療機関の受診傾向があること。
- 通常成人の用法用量においても、高齢者では注意が必要となる副作用が存在すること、また、高齢者の生理的な機能や状態に基づく薬物動より増強される作用・副作用があること。
- 服用医薬品の種類が多くなることにより、特に 6 剤以上で、医薬品関連の有害事象の頻度が高くなる傾向があること。

今後、さらに高齢者の医薬品適正使用を推進するため対策検討にあたり、その基礎となる十分なエビデンスを以下の点に留意して収集・分析する必要がある。

- (1) 高齢者向けの用法・用量が設定されている内服医薬品は限定的である。特に、糖尿病、高血圧、催眠鎮静に関する医薬品において、せん妄等による二次的な安全性の問題を回避し、高齢者に対する適切な用法・用量の情報提供を充実させるため、薬剤学的なエビデンスを収集する必要がある。

---

1) 「高齢者の医薬品適正使用に関する検討課題と今後の進め方について」平成 29 年 8 月 23 日  
高齢者医薬品適正使用検討会  
<http://www.mhlw.go.jp/file/04-Houdouhappyou-11125000-Iyakushokuhinkyoku-Anzentai-sakuka/0000175596.pdf>

- (2) 高齢者の内服薬の多剤服用と副作用の増加等直接的な関係を示すデータ等は、国内では限定的である。今後、経口血糖降下剤、循環器用薬(高血圧治療剤、高脂血症治療剤、経口抗凝固剤・抗血小板剤)、認知症治療剤、睡眠導入剤・抗不安薬等(重複使用に共通する問題)、抗菌剤等の薬効群も考慮し、多剤服用の実態や組合せの傾向等と副作用に関する分析・評価をより大規模に行う必要がある。
- (3) 多剤服用のアウトカムを NDB 等の医療関係データベースから調査・分析することも一案であり、行政において調査・分析を積極的に支援する必要がある。
- (4) 同時に、病院・施設内、在宅、診療所等のそれぞれの医療現場において、内服薬の使用種類の増減が生じやすい患者・治療環境の事例、副作用低減等に効果のあった医療機関及び薬局での事例(学会ガイドライン、STOPP<sup>2</sup>クライテリア、プレアボイド等)の収集と分析を行う必要がある。

### 3.2. 特に慎重な投与を要する薬物のリスト(STOPP-J)

欧州、米国では、65 歳以上の高齢者に対して潜在的に不適切な薬物の考え方を示したものとして、それぞれ「Screening Tool of Older Person's Prescriptions version 2 (STOPP v2)」<sup>3)</sup>「2015 BeersS」<sup>4)</sup>、が高齢者の薬物療法を行ううえで広く参考にされている。

本邦では平成 27 (2015)年 12 月、日本老年医学会が「高齢者における薬物療法ガイドライン」を作成し、そのなかで、75 歳以上の高齢者と 75 歳未満のフレイルな高齢者を対象とした「特に慎重な投与を要する薬物のリスト(STOPP-J)」<sup>2)</sup>を公表している。

---

2) 日本老年医学会編, 高齢者の安全な薬物療法ガイドライン, 第 1 版, 2015, pp.26-31

[https://www.jpn-geriat-soc.or.jp/info/topics/pdf/20170808\\_01.pdf](https://www.jpn-geriat-soc.or.jp/info/topics/pdf/20170808_01.pdf)

3) D Mahony, D O'Sullivan, S Byrne, MN O'Connor, C Ryan, P Gallagher: STOPP/START criteria for potentially inappropriate prescribing in older people: version 2, Age Ageing, 44, 213-218 (2015)

4) DM Fick, TP Semla, J Beizer, N Brandt, R Dombrowski, CE DuBeau, W Eisenberg, JJ Epplin, N Flanagan, E Giovannetti, J Hanlon, P Hollmann, R Laird, S Linnebur, S Sandhu, M Steinman : American Geriatric Society 2015 Beers Criteria Update Expert Panel, American Geriatrics Society 2015 Updated Beers Criteria for Potentially Inappropriate Medication Use in Older Adults, J Am Geriatr Soc, 63, 2227-2246 (2015)

### 3.3. 予後を左右する特定の慢性疾患・病態群

Charlson ら<sup>5)6)</sup>は、高齢者の予後を特に左右する病態を評価するために、19の慢性疾患に関連する状態について重みづけスコア化し、Charlson Comorbidity Indexとした。スコア1として冠動脈疾患、うっ血性心不全、慢性肺疾患、胃潰瘍、末梢血管疾患、軽症肝疾患、脳血管疾患、膠原病、糖尿病、認知症、スコア2として片麻痺、腎疾患、臓器障害を伴う糖尿病、5年以内に診断された悪性疾患、白血病、リンパ腫、スコア3として中～重症の肝疾患、スコア6として転移性固形癌、後天性免疫不全症候群(AIDS)などがあげられている。

- 
- 5) Charlson ME, Pompei P, Ales KL, MacKenzie CR: A new method of classifying prognostic comorbidity in longitudinal studies: development and validation. *J Chronic Dis*, 40, 373-383 (1987)
  - 6) Charlson ME, Szatrowski TP, Peterson J, Gold J: Validation of a combined comorbidity index. *J Clinical Epidemiology*, 47, 1245-1251(1994)  
[https://doi.org/10.1016/0895-4356\(94\)90129-5](https://doi.org/10.1016/0895-4356(94)90129-5)

## 4. 集計表の設計

### 4.1. 基礎情報収集のための NDB の活用の可能性と限界

NDBには電子化されたすべてのレセプトが集められている。したがって、自由診療、生活保護の医療扶助、自動車損害賠償責任保険、労災保険を除く、ほぼすべての診療費情報が含まれている。

NDBは国民健康保険、被用者保険とともに後期高齢者医療も格納していることから、年齢区分については上限なく収集可能である。

NDBにおけるレセプト情報部分のファイルの構造は、医科、DPC、歯科、調剤の4種類であるが、それぞれが、基本情報をはじめいくつかのファイルに分割されて複雑な構造となっている。これは元々、診療報酬支払いのためのデータであるためといえる。ファイル構造は複雑ではあるが、当然のことながら、いずれも個人コードで紐付け可能である。

疾患名はICDコードで入力されており、主病名のみならず、副病名も掲載されている。また、検査のためのいわゆる「疑い病名」は識別可能である。しかし、一方で、治癒、終了等による病名の削除は十分には行えず、予後情報は直接には把握困難である。また、たとえば、「脳血管障害」と「脳梗塞」、「虚血性心疾患」と「急性心筋梗塞」のように診断が進むにつれて詳細な疾患名が記載された場合、疾患数としては、重複して集計することになる。

医薬品は12桁の薬価収載コード情報となっている。このうち上3桁は薬効別コードであり、ジェネリックもすべて対象として、薬効別の分類、集計ができる。

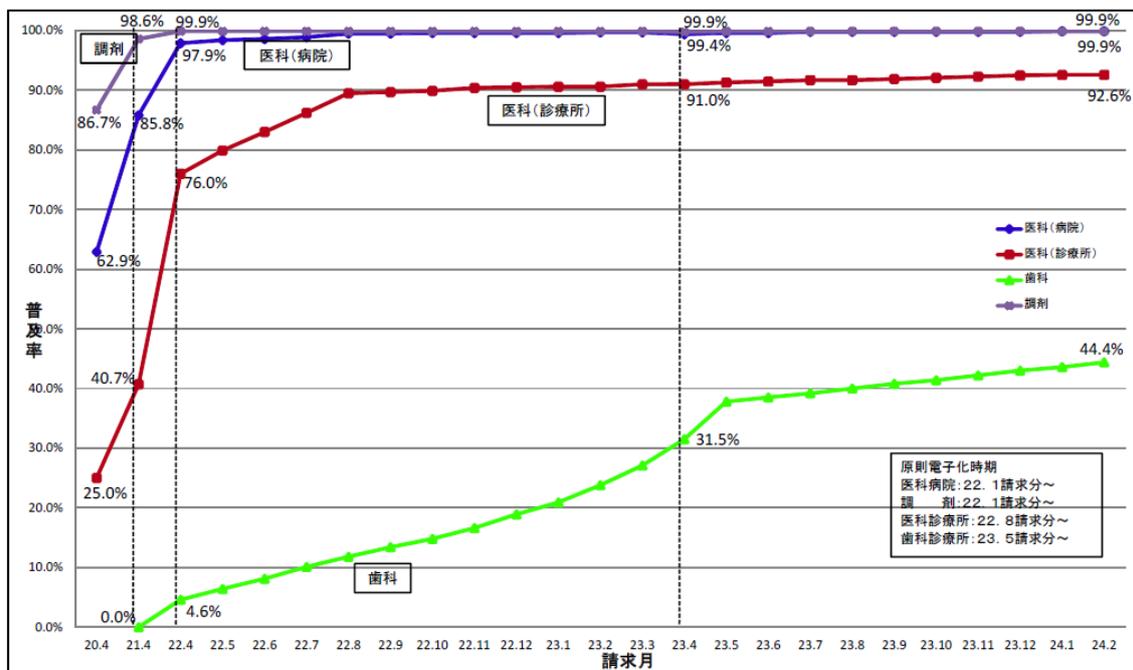
ただし、たとえばアスピリンのように複数の薬効があり、複数のコードを有している場合の集計が曖昧になるおそれがある。

検査については、実施した検査は把握できるが、検査結果は把握できない。

レセプトは1か月単位でとりまとめることから、慢性疾患等で90日処方の場合、1か月単位では集計から漏れることとなる。

時系列情報としては、医科、調剤においては平成22(2010)年4月時点での電子化がそれぞれ97.9%、99.9%に達していることから、この頃まで遡及可能とみることができると(図表4-1-1)。

図表 4-1-1. 医療機関のレセプト電子化の推移(レセプト件数ベース)



レセプト情報・特定健診等情報データベースの第三者提供  
 ー利用を検討している方々へのマニュアル(第2版)

## 4.2. 提供申請方式の選択

NDB の利用においては、以上 4.1. で整理したレセプト情報の特性を前提とする必要がある。

第三者提供の方法のうち、集計表情報は、申請時点で結果表を想定していなければならぬ一方、複数にわたるファイルからの実際の抽出作業をデータセンターが実施することから、比較的短期間に結果を得ることが可能であり、利用環境の現地監査等も省略されている。

日医総研には日本医師会館 6 階に医療ビッグデータ解析室が整備されている。

本研究では、高齢者の医薬品使用の実態を把握することを目的とし、4 次元以上の複雑なクロス解析を予定しないことから、解析室の使用を前提として、集計表情報の取得を申請することとした。

### 4.3. 集計表の設計

集計表の設計においては、秋下雅弘東京大学大学院医学系研究科加齢医学教授の指導を得て、対象を下記のように設定した。

#### (1) 対象者

65歳以上を5歳階級で区分する。オープンデータにおいては85歳以上がまとめられているが、高齢者の状況把握が目的であるため、85歳以上90歳未満と90歳以上は分離する。

#### (2) 対象期間

データが安定している限り遡った時期と最新の時期とでの比較を試みるために、申請時入手可能な直近データの平成27(2015)年およびデータが安定した平成23(2011)年のそれぞれ10月の1ヶ月分を対象期間とする。このため、90日処方薬の3分の2は集計されないこととなるが、処方を変更した場合の重複集計を最小限に留めることができる。

#### (3) 対象データ

一般的な慢性期の医薬品使用状況と薬局の関わりに焦点をあてるため、院外調剤のみを対象とする。このため、入院中、および、院内調剤分は対象に含まれない。

#### (4) 対象医薬品目

内服医薬品を対象とする。また、長期使用に焦点をあてるため、短期使用医薬品は除外する。また、複数医薬品で標準プロトコルが示されている抗がん剤も除外する。具体的には以下は除外し、対象医薬品は図表4-3-1のとおりとする。

- ・ 外用・注射、局所麻酔剤、診断用剤、糖類剤、放射性医薬品、賦形剤、溶解剤、防腐剤
- ・ タンパクアミノ酸製剤、乳児用剤(小児用は除外しない)、子宮収縮剤、抗酒薬、覚醒剤、その他の滋養強壯剤(ぶどう酒)
- ・ 抗菌剤、総合感冒薬等、急性疾患対象と想定される医薬品(ただし、長期投与の認められているマクロライド系は除外しない)
- ・ 慢性感染症薬 ←個別プロトコルにより管理されている。
- ・ 抗がん剤 ←個別プロトコルにより管理されている。

図表 4-3-1. 対象とした医薬品の薬効分類と除外した薬効分類

112 催眠鎮静剤, 抗不安剤	231 止しゃ剤, 整腸剤
113 抗てんかん剤	232 消化性潰瘍用剤
114 解熱鎮痛消炎剤	233 健胃消化剤
116 抗パーキンソン剤	234 制酸剤
117 精神神経用剤	235 下剤, 浣腸剤
<del>118 総合感冒剤</del>	236 利胆剤
119 その他の中枢神経系用薬	239 その他の消化器官用薬
<del>121 局所麻酔剤</del>	241 脳下垂体ホルモン剤
122 骨格筋弛緩剤	242 唾液腺ホルモン剤
123 自律神経剤	243 甲状腺, 副甲状腺ホルモン剤
124 鎮けい剤	244 たん白同化ステロイド剤
129 その他の末梢神経系用薬	245 副腎ホルモン剤
131 眼科用剤	246 男性ホルモン剤
132 耳鼻科用剤	247 卵胞ホルモン及び黄体ホルモン剤
133 鎮暈剤	248 混合ホルモン剤
211 強心剤	249 その他のホルモン剤(抗ホルモン剤含む。)
212 不整脈用剤	251 泌尿器官用剤
213 利尿剤	<del>253 子宮収縮剤</del>
214 血圧降下剤	255 痔疾用剤
216 血管収縮剤	259 その他の泌尿生殖器官及び肛門用薬
217 血管拡張剤	<del>269 その他の外皮用薬</del>
218 高脂血症用剤	290 その他の個々の器官系用医薬品
219 その他の循環器官用薬	311 ビタミンA及びD剤
222 鎮咳剤	312 ビタミンB1剤
223 去たん剤	313 ビタミンB剤(ビタミンB1剤除く。)
224 鎮咳去たん剤	314 ビタミンC剤
225 気管支拡張剤	315 ビタミンE剤

316 ビタミンK剤  
 317 混合ビタミン剤(ビタミンA・D混合製剤除く)  
 319 その他のビタミン剤  
 321 カルシウム剤  
 322 無機質製剤  
~~323 糖類剤~~  
 325 たん白アミノ酸製剤  
~~327 乳幼児用剤~~  
~~329 その他の滋養強壮薬~~  
 332 止血剤  
 333 血液凝固阻止剤  
 339 その他の血液・体液用薬  
 391 肝臓疾患用剤  
 392 解毒剤  
~~393 習慣性中毒用剤~~  
 394 痛風治療剤  
 395 酵素製剤  
 396 糖尿病用剤  
 399 他に分類されない代謝性医薬品  
 419 その他の細胞賦活用薬  
 421 アルキル化剤  
 422 代謝拮抗剤  
 424 抗腫瘍性植物成分製剤  
 429 その他の腫瘍用薬  
 441 抗ヒスタミン剤  
 442 刺激療法剤  
 449 その他のアレルギー用薬  
 510 生薬

520 漢方製剤  
 590 その他の生薬及び漢方処方に基づく医薬品  
~~611 主としてグラム陽性菌に作用するもの~~  
~~612 主としてグラム陰性菌に作用するもの~~  
~~613 主としてグラム陽性・陰性菌に作用するもの~~  
 614 主としてグラム陽性菌、マイコプラズマに作用するもの  
~~615 主としてグラム陽性・陰性菌、リケッチア、クラミジアに作用するもの~~  
 616 主として抗酸菌に作用するもの  
 617 主としてカビに作用するもの  
~~619 その他の抗生物質製剤(複合抗生物質製剤含む)~~  
 621 サルファ剤  
 622 抗結核剤  
 623 抗ハンセン病剤  
 624 合成抗菌剤  
 625 抗ウイルス剤  
 629 その他の化学療法剤  
 641 抗原虫剤  
 642 駆虫剤  
 711 賦形剤  
 713 溶解剤  
 714 矯味、矯臭、着色剤  
 721 ~~×線造影剤~~  
 722 機能検査用試薬  
 729 その他の診断用薬(体外診断用医薬品除く)  
 731 防腐剤  
~~799 他に分類されない治療を主目的としない医薬品~~  
 811 あへんアルカロイド系麻薬  
 821 合成麻薬

(5) 特定の薬効の医薬品

高齢者に対し、特に慎重な投与を要する薬物として日本老年医学会がリスト化した **STOPP-J<sup>7)</sup>** に掲載された薬効群をもとに選択された医薬品<sup>7)</sup> は厚生労働省が公表した薬価基準収載医薬品コード(2017年2月1日時点)による薬効別にピックアップして集計する。

---

7) 日本老年医学会. 「特に慎重な投与を要する薬物のリスト」に該当する薬剤の一般名と医薬品コード一覧. 2018年3月12日. [https://www.jpn-geriat-soc.or.jp/tool/pdf/list\\_01.pdf](https://www.jpn-geriat-soc.or.jp/tool/pdf/list_01.pdf)

図表 4-3-2. 特に慎重な投与を要する薬物のリスト(STOPP-J)

分類	推奨される使用法	該当する一般名(2017年2月)	薬価基準収載 医薬品コード
抗精神病薬	<p>定型抗精神病薬の使用はできるだけ控える。非定型抗精神病薬は必要最小限の使用にとどめる。                      フチロフェノン系(ハロペリールなど)はパーキンソン病に禁忌。                      オランザピン、クエチアピンは糖尿病に禁忌。</p>	オキシペルチン	1179011
		クロカブラミン塩酸塩	1179030
		クロルプロマジンフェノールフタリン酸塩	1171005
		クロルプロマジン塩酸塩	1171001
		スピペロン	1179015
		スルトプリド塩酸塩	1179032
		ゾテピン	1179024
		チアプリド塩酸塩	1190004
		チミペロン	1179026
		ネモナプリド	1179036
		ハロペリドール	1179020
		ピパンペロン(フロロピパミド塩酸塩)	1179006
		ピモジド	1179022
		フルフェナジンマレイン酸塩	1172009
		ブロクロラペラジンマレイン酸塩	1172010
		ブロペリシアジン	1172005
		ブロムペリドール	1179028
		ベルフェナジン	1172006 1172007
		ベルフェナジンフェンジソ酸塩	1172004
		ベルフェナジンマレイン酸塩	1172013
		モサブラミン塩酸塩	1179035
		レボメプロマジンマレイン酸塩	1172014
		アセナビンマレイン酸塩	1179056
		アリピプラゾール	1179045
		オランザピン	1179044
		クエチアピソフマル酸塩	1179042
		クロザピン	1179049
		バリペリドン	1179053
プロナンセリン	1179048		
ペロスピロン塩酸塩水和物	1179043		
リスペリドン	1179038		
睡眠薬	<p>長時間作用型は使用するべきでない。                      トリアゾラムは健忘のリスクがあり使用するべきでない。ほかのベンゾジアゼピン系も可能な限り使用を控える。使用する場合最低必要量をできるだけ短期間使用に限る</p>	アルプラゾラム	1124023
		エスタゾラム	1124001
		エチゾラム	1179025
		オキサゾラム	1124013
		クアゼパム	1124030
		クロキサゾラム	1124014
		クロチアゼパム	1179012
		クロラゼパ酸二カリウム	1124015
		クロルジアゼポキシド	1124028
		ジアゼパム	1124017
		トフィソパム	1124026
		トリアゾラム	1124007
		ニトラゼパム	1124003
		ニメタゼパム	1124004
		ハロキサゾラム	1124005
		フルジアゼパム	1124019
		フルタゾラム	1124024
		フルトラゼパム	1124027
		フルニトラゼパム	1124008
		フルラゼパム塩酸塩	1124002
プロチゾラム	1124009		
プロマゼパム	1124020		

睡眠薬	長時間作用型は使用するべきでない。トリアゾラムは健忘のリスクがあり使用するべきでない。ほかのベンゾジアゼピン系も可能な限り使用を控える。使用する場合最低必要量をできるだけ短期間使用に限る	メキサゾラム	1124025
		メダゼパム	1124021
		リルマザホン塩酸塩水和物	1129006
		ロフラゼブ酸エチル	1124029
		ロラゼパム	1124022
	漫然と長期投与せず、減量、中止を検討する。少量の使用にとどめる	ロルメタゼパム	1124010
		エスゾピクロン	1129010
		ゾピクロン	1129007
		ゾルピデム	1129009
抗うつ薬	可能な限り使用を控える	アミトリプチリン塩酸塩	1179002
		アモキサピン	1179001
		イミプラミン塩酸塩	1174006
		クロミプラミン塩酸塩	1174002
		ドスレピン塩酸塩	1179027
		トリミプラミンマレイン酸塩	1174005
		ノルトリプチリン塩酸塩	1179004
		ロフェプラミン塩酸塩	1174004
	SSRI は慎重投与	エスシタロプラムシユウ酸塩	1179054
		パロキセチン塩酸塩水和物	1179041
		フルボキサミンマレイン酸塩	1179039
		塩酸セルトラリン	1179046
スルピリド	可能な限り使用を控える。 使用するには50mg/日以下に。褐色細胞腫にスルピリドは使用禁忌	スルピリド	1179016 2329009
抗パーキンソン病薬	可能な限り使用を控える。 代替薬：L-ドパ	トリヘキシフェニジル塩酸塩	1169001 1169002
		ピペリデン塩酸塩	1162001
		ピロヘプチン塩酸塩	1169003
		プロフェタミンヒベンズ酸塩	1163002
		プロフェタミン塩酸塩	1163001
		プロメタジン塩酸塩	4413002
		プロメタジンヒベンズ酸	4413002
		プロメタジンメチレンジサリチル酸塩	4413002
		マザチコール塩酸塩水和物	1169004
ステロイド	使用するべきでない。 増悪時、Ⅲ期以上の症例や入院管理が必要な患者で、プレドニゾン 40mg/日を5日間投与が奨められる	コルチゾン酢酸エステル	2452001
		デキサメタゾン	2454002
		トリアムシノロン	2454003
		ヒドロコルチゾン	2452002
		プレドニゾン	2456001 2456002
		ベタメタゾン	2454004
		メチルプレドニゾン	2456003
		ベタメタゾン α-クロルフェニラミンマレイン酸塩	2459100
抗血栓薬(抗血小板薬、抗凝固薬)	原則として使用せず、抗凝固薬の投与を考慮すべき	アスピリン	3399007
		クロピドグレル硫酸塩	3399008
		シロスタゾール	3399002
		チカグレロル	3399011
		チクロピジン塩酸塩	3399001
		プラスグレル塩酸塩	3399009
		アスピリン ジヒドロキシアルミニウムアミノアセタート 炭酸マグネシウム	3399100
		アスピリン クロピドグレル硫酸塩(再掲)	3399101
		アスピリン ランソプラゾール	3399102

抗血栓薬(抗血小板薬、抗凝固薬)	可能な限り使用を控える。 代替薬として他の抗血小板薬(クロピドグレルなど)を使用する場合は、プロトンポンプ阻害薬やミソプロストールなどの胃保護薬を併用(適応症に注意)	アスピリン(再掲)	1143001 3399007
		アスピリン ジヒドロキシアルミニウムアミノアセタート 炭酸マグネシウム(再掲)	1143010 3399100
		アスピリン クロピドグレル硫酸塩(再掲)	3399101
		アスピリン ランソプラゾール(再掲)	3399102
	長期間(12ヶ月以上)の使用は原則として行わず、単独投与とする	アスピリン	3399007
		クロピドグレル硫酸塩	3399008
		シロスタゾール	3399002
		チカグレロル	3399011
		チクロピジン塩酸塩	3399001
		プラスグレル塩酸塩	3399009
		アスピリン ジヒドロキシアルミニウムアミノアセタート 炭酸マグネシウム	3399100
		アスピリン クロピドグレル硫酸塩(再掲)	3399101
		アスピリン ランソプラゾール	3399102
		アピキサバン	3339004
		エドキサバントシル酸塩水和物	3339002
		ダピガトランエテキシラートメタンスルホン塩酸	3339001
		リバーロキサバン	3339003
ワルファリンカリウム	3332001		
ジギタリス	0.125mg/日以下に減量する。 高齢者では0.125mg/日以下でもジギタリス中毒のリスクがあるため、血中濃度や心電図によるモニターが難しい場合には中止を考慮する	ジゴキシン	2113003 2113004
利尿薬	必要最小限の使用にとどめ、循環血漿量の減少が疑われる場合、中止または減量を考慮する。	アゾセミド	2139008
		トラセミド	2139009
		ビレタニド	2139007
		フメタニド	2139004
	フロセミド	2139005	
適宜電解質・腎機能のモニタリングを行う。特にK高値、腎機能低下の症例では少量の使用にとどめる	エプレレノン	2149045	
	スピロノラクトン	2133001	
β遮断薬	気管支喘息やCOPDではβ1選択的β遮断薬に限るが、その場合でも適応自体を慎重に検討する。 カルベジロールは、心不全合併COPD例で使用可(COPDの増悪の報告が少なく心不全への有用性が上回る。気管支喘息では禁忌)	アルブレノロール塩酸塩	2123002
		アロチノロール塩酸塩	2123014
		カルテオロール塩酸塩	2123005 2149025
		ナドロール	2123015
		ニブラジロール	2149021
		ピンドロール	2123009 2149011
		プフェトロール塩酸塩	2123006
		プロプラノロール塩酸塩	2123008 2149014
α遮断薬	可能な限り使用を控える。 代替薬： (高血圧)その他の降圧薬(前立腺肥大症)シロドシン、タムスロシン、ナフトピジル、植物製剤など	ウラピジル	2149020
		テラゾシン塩酸塩水和物	2149023
		ドキサゾシンメシル酸塩	2149026
		プナゾシン塩酸塩	2149015
		ブラゾシン塩酸塩	2149002

第1世代H1受容体拮抗薬	可能な限り使用を控える	d-クロルフェニラミンマレイン酸塩	4419002
		アリメマジン酒石酸塩	4413003
		クレマスチンフマル酸塩	4419008
		クロルフェニラミンマレイン酸塩	4419001 4419003
		ジフェンヒドラミン	4411001
		シプロヘプタジン塩酸塩	4419005
		ヒドロキシジンパモ酸塩	1179019
		ヒドロキシジン塩酸塩	1179005
		プロメタジン塩酸塩(再掲)	4413002
		プロメタジンヒベンズ酸(再掲)	4413002
		プロメタジンメチレンジサリチル酸塩(再掲)	4413002
		ホモクロルシクリジン塩酸塩	4419006
		ヘタメタゾン d-クロルフェニラミンマレイン酸塩(再)	2459100
		H2受容体拮抗薬	可能な限り使用を控える。 特に入院患者や腎機能低下患者では必要最小限の使用にとどめる。
ニザチジン	2325005		
ファモチジン	2325003		
ラニチジン塩酸塩	2325002		
ラフチジン	2325006		
ロキサチジン酢酸エステル塩酸塩	2325004		
制吐薬	可能な限り使用を控える	プロクロラペラジンマレイン酸塩(再掲)	1172010
		プロメタジン塩酸塩(再掲)	4413002
		プロメタジンヒベンズ酸(再掲)	4413002
		プロメタジンメチレンジサリチル酸塩(再掲)	4413002
		メトクロプラミド	2399004
緩下薬	高用量の使用は避ける。低用量から開始し、血清Mg値をモニターする。血清Mg値上昇時は使用を中止する 代替薬：他の作用機序の緩下薬	酸化マグネシウム	2344002 2344009
糖尿病薬	可能であれば使用を控える。代替薬としてDPP-4阻害薬を考慮	アセトヘキサミド	3961001
		グリクラジド	3961007
		グリクロピラミド	3961002
		グリベンクラミド	3961003
		グリメピリド	3961008
		クロルプロバミド	3961004
		トルブタミド	3961006
		グリメピリド ピオグリタゾン塩酸塩	3969101
	可能であれば使用を控える。高齢者に対して、メトホルミン以外は禁忌	フホルミン塩酸塩	3962001
		メトホルミン塩酸塩	3962002
		メトホルミン塩酸塩 アログリブチン安息香酸塩	3969105
		メトホルミン塩酸塩 ビルダグリブチン塩酸塩	3969104
		メトホルミン塩酸塩 ピオグリタゾン塩酸塩	3969100
	心不全患者、心不全既往者には使用しない。高齢者では、少量から開始し、慎重に投与する	ピオグリタゾン塩酸塩	3969007
		ピオグリタゾン塩酸塩 アログリブチン安息香酸塩	3969103
		ピオグリタゾン塩酸塩 グリメピリド(再掲)	3969101
		メトホルミン塩酸塩 ピオグリタゾン塩酸塩(再掲)	3969100
	腸閉塞などの重篤な副作用に注意する	アカルボース	3969003
		ボグリボース	3969004
ミグリトール		3969009	
ミチグリニドカルシウム水和物 ボグリボース		3969102	

糖尿病薬	可能な限り使用せず、使用する場合は慎重に投与する	イブラグリフロジン L-プロリン	3969018
		エンバグリフロジン	3969023
		カナグリフロジン水和物	3969022
		ダバグリフロジンプロピレングリコール水和物	3969019
		トホグリフロジン水和物	3969021
インスリン	高血糖性昏睡を含む急性病態を除き、可能な限り使用を控える	スライディングスケール以外は、インスリンは投与する	—
過活動膀胱治療薬	可能な限り使用しない。代替薬として他のムスカリン受容体拮抗薬	オキシブチニン塩酸塩	2590005
		イミダフェナシン	2590013
		ソリフェナシンコハク酸塩	2590011
		トルテロジン酒石酸塩	2590012
		フェソテロジンフマル酸塩	2590015
非ステロイド性抗炎症薬 (NSAIDs)	<p>低用量から使用 前立腺肥大症の場合は<math>\alpha_1</math>受容体遮断薬との併用必要時、緩下剤を併用する</p> <p>1. 使用をなるべく短期間にとどめる。 2. 中止困難例では消化管の有害事象の予防にプロトンポンプ阻害薬やミソプロストールの併用を考慮 3. 中止困難例では、消化管の有害事象の予防に選択的 COX-2 阻害薬の使用を検討(セレコキシブなど) a. その場合も可能な限り低用量を使用 b. 消化管の有害事象の予防にプロトンポンプ阻害薬の併用を考慮</p>	プロピペリン塩酸塩	2590007
		アセメタシン	1145003
		アンピロキシカム	1149030
		アンフェナクナトリウム水和物	1147006
		イブプロフェン	1149001
		インドメタシン	1145001 1145002
		インドメタシンファルネシル	1145005
		エトドラク	1149032
		エモルファゾン	1148004
		オキサプロジン	1149026
		ザルトプロフェン	1149029
		シクロフェナクナトリウム	1147002
		スリンダク	1149015
		チアプロフェン酸	1149025
		チアラミド塩酸塩	1148001
		ナブメトン	1149027
		ナプロキセン	1149007
		ピロキシカム	1149017
		ブコローム	1149009
		プラノプロフェン	1149010
		フルフェナム酸アルミニウム	1141004
		フルルビプロフェン	1149011
		プログルメタシンマレイン酸塩	1145004
		メフェナム酸	1141005
		メロキシカム	1149035
		モフェソラク	1149033
		ロキソプロフェンナトリウム水和物	1149019
ロルノキシカム	1149036		

「高齢者の安全な薬物療法ガイドライン 2015」(日本老年医学会編)に基づき、成分名および該当する薬価基準収載医薬品コードを特定

(6) 対象疾患数

患者別および薬局別に ICD コードによる疾患名を集計する。その際、疑い病名は除外する。

(7) 特定の疾患群

予後を左右する特定の慢性疾患・病態群 (Charlson Comorbidity Index 計上疾患・病態群) : Sundararajana ら<sup>8)</sup> が作成した ICD-10 のコード(図表 4-3-3)を用いる。ただし、Index に示されている重み付けは行わず、対象者数のみを集計する。

---

8) Vijaya Sundararajana, Toni Hendersona, Catherine Perrya, Amanda Muggivana, Hude Quanb, William A. Ghalib: New ICD-10 version of the Charlson Comorbidity Index predicted in-hospital mortality, Journal of Clinical Epidemiology 57, 1288–1294 (2004)

図表 4-3-3. 対象とした Charlson Comorbidity Index 計上疾患群の ICD コード

Diagnostic categories	Category codes	ICD-10-AM codes
Acute myocardial infarction I21-I23	MI	I21, I22, I252
Congestive heart failure I50.0	HF	I50
Peripheral vascular disease I70, I74	VD	V434 I71, I790, I739, R02, Z958, Z959
Cerebral vascular accident I60-I61, I63-I67	CV	I160, I61, I62, I63, I65, I66, G450, G451, G452, G458, G459, G46, I64, G454, I670, I671, I672, I674, I675, I676, I677 I678, I679, I681, I682, I688, I69I676, I677 I678, I679, I681, I682, I688, I69
Dementia F00-F03	De	F00, F01, F02, F051
Pulmonary disease J40-J47	PD	J40, J41, J42, J44, J43, J45, J46, J47, J67, J44, J60, J61, J62, J63, J66, J64, J65
Connective tissue disorder M05-M08, M12	CT	M32, M34, M332, M053, M058, M059, M060, M063, M069, M050, M052, M051, M353
Peptic ulcer M25-M28	UI	K25, K26, K27, K28
Liver disease K70-K71, K73	LD	K702, K703, K73, K717, K740, K742, K746, K743, K744, K745
Diabetes E10.9, E11.9, E12.9, E13.9, E14.9	DM	E109, E119, E139, E149, E101, E111, E131, E141, E105, E115, E135, E145
Diabetes complications E10.0-E10.8, E11.0-E11.8, E12.0-E12.8, E13.0-E13.8, E14.0-E14.8	DC	E102, E112, E132, E142 E103, E113, E133, E143 E104, E114, E134, E144
Paraplegia R26, R27	PP	G81 G041, G820, G821, G822
Renal disease N00-N08, N10-12, N17-N19, N25-29	RD	N03, N052, N053, N054, N055, N056, N072, N073, N074, N01,
Cancer C00-C75 (続発性を除く)	Ca	C0, C1, C2, C3, C40, C41, C43, C45, C46, C47, C48, C49, C5, C6, C70, C71, C72, C73, C74, C75, C76, C80, C81, C82, C83, C84, C85, C883, C887, C889, C900, C901, C91, C92, C93, C940, C941, C942, C943, C9451, C947, C95, C96
Metastatic cancer C77-C79	MCa	C77, C78, C79, C80
Severe liver disease K72, K74	SL	K729, K766, K767, K721
HIV B20-B24	HI	B20, B21, B22, B23, B24

Sundararajana 5

#### 4.4. 申請した集計表の構造

年齢階級区分は極めて大きな要素であるため、85歳～89歳と90歳以上は区分することとし、いずれも平成23(2011)年10月分と平成27(2015)年10月分とした。

具体的には以下の7表とした。

集計表① 高齢者における薬局ごとの外来内服医薬品の投与種類累計数(年別)  
薬局レセプトごとに、図表4-3-1の医薬品コードの有無を分別して投与種類累計数を集計したものの頻度を年齢階級別にみる。

集計表② 高齢者における患者ごとの外来内服医薬品の投与種類累計数(年別)  
①の調剤レセプトを患者ごとに紐付けし、図表4-3-1の医薬品コードの有無を分別して投与種類累計数を集計したものの頻度を年齢階級別にみる。

集計表③ 特定の薬効医薬品の使用の有無(年別)  
図表4-3-2に挙げた「特に老年症候群のリスクを高めるおそれがあると疑われる」STOPP-Jにリストアップされている医薬品コード群(薬効分類)の有無を、同一患者の調剤レセプトを紐付けして年齢階級別にみる。

集計表④ 高齢者における特定の医薬品の投与種類累計数(年別)  
図表4-3-2の特定薬効分類ごとの医薬品コード投与種類累計数を、同一患者の調剤レセプトを紐付けして患者ごとに集計し年齢階級別に頻度をみる。

集計表⑤ 薬局ごとの疾患数と投与種類数(年別)  
調剤レセプトに医科レセプトを紐付けし、薬局ごとに疾患数(ICDコード)と使用医薬品数を集計して年齢階級別に頻度をみる。

集計表⑥ 患者ごとの疾患数と投与種類数(年別)  
調剤レセプトに医科レセプトを紐付けし、患者ごとに疾患数(ICDコード)と使用医薬品数を集計して年齢階級別に頻度をみる。

集計表⑦ 特定の疾患群の有無(年別)

調剤レセプトに医科レセプトを紐付けし、Charlson らの「予後を左右する特定の慢性疾患・病態群」(Charlson Comorbidity Index 計上疾患・病態群)の Sundararajana らによる ICD-10 コード化リスト(図表 4-3-3)に掲げた疾患群の有無を年齢階級別に、調剤レセプト 1 枚ごとにみる。

## 5. 結果

### 5.1. 年齢階級別人口に占める今回の対象者数

今回の集計の対象者は、当該月に前述の除外医薬品を除く何らかの内服医薬品を使用した者である。これを対象者の母集団と比較したものが図表 5-1-1 および図表 5-1-2 である。

対象者の母集団としては、総務省統計局が作成している月別年齢階級別推計人口を用いた。

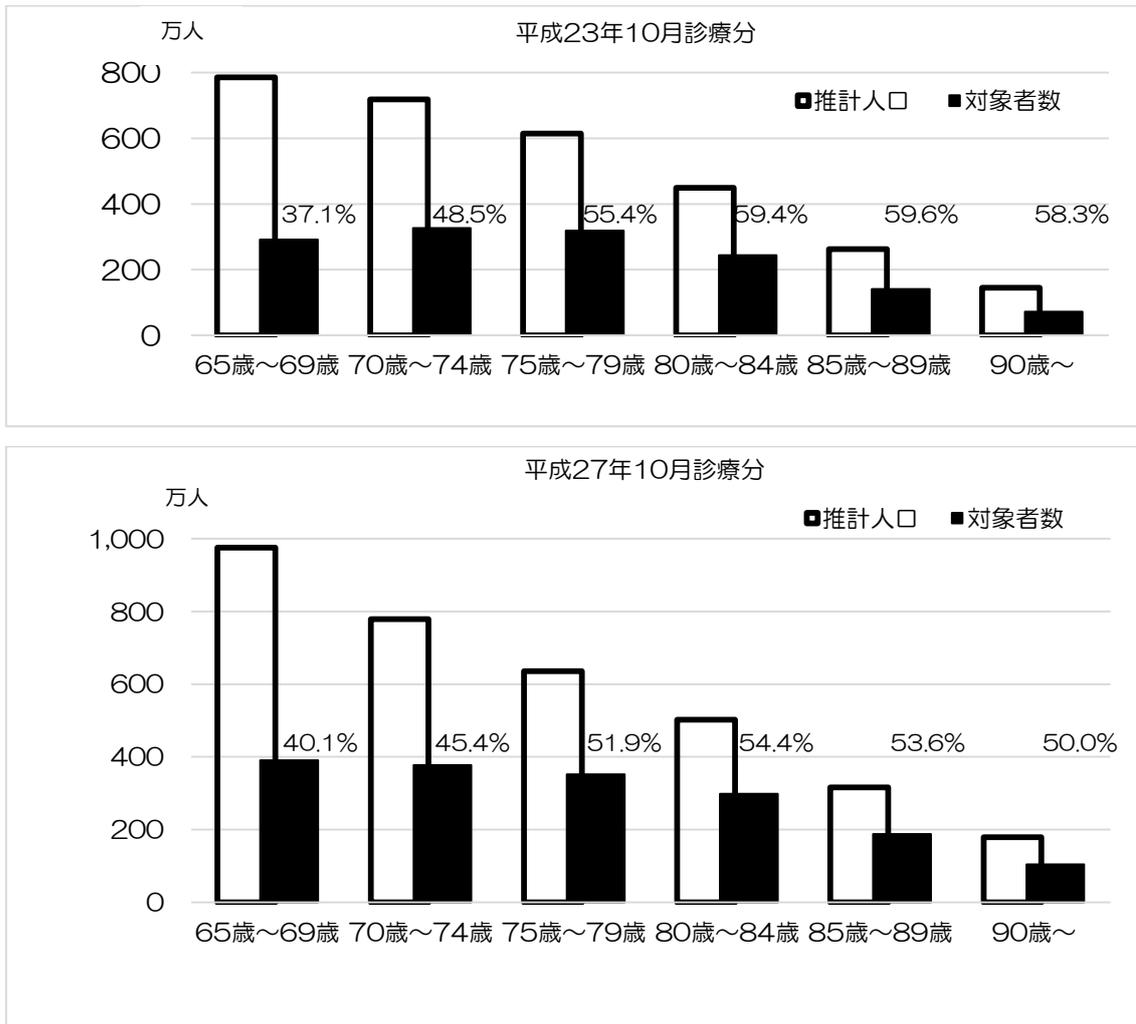
高齢化にともない、平成 23 (2011)年に比べ、平成 27 (2015)年のほうが各年齢階級において推計人口が増えているのみならず、対象が増えるのは当然であるが、各年齢階級に占める割合も高くなっている。65 歳以上総数において、少なくとも平成 23 (2011)年では 46.9%、平成 27 (2015)年では 50.5%が院外処方医薬品を使用していた。

図表 5-1-1 各年齢階級の推計人口と対象者数および各年齢階級に占める割合

平成 23 年 10 月診療分							
	65 歳～69 歳	70 歳～74 歳	75 歳～79 歳	80 歳～84 歳	85 歳～89 歳	90 歳～	総数
推計人口	7,861,000	7,184,000	6,143,000	4,494,000	2,626,000	1,445,000	29,753,000
対象者数	2,914,965	3,264,411	3,190,355	2,445,917	1,407,239	722,799	13,945,686
	37.1%	45.4%	51.9%	54.4%	53.6%	50.0%	46.9%
平成 27 年 10 月診療分							
	65 歳～69 歳	70 歳～74 歳	75 歳～79 歳	80 歳～84 歳	85 歳～89 歳	90 歳～	総数
推計人口	9,759,000	7,787,000	6,354,000	5,026,000	3,156,000	1,787,000	33,869,000
対象者数	3,909,120	3,773,276	3,522,524	2,983,298	1,881,311	1,041,925	17,111,454
	40.1%	48.5%	55.4%	59.4%	59.6%	58.3%	50.5%

集計表②および年齢階級別推計人口(単位：千人、総務省統計局作成の人口推計 <http://www.stat.go.jp/data/jinsui/2.htm> を元に 90 歳以上をまとめて作成)より作成

図表 5-1-2 各年齢階級の対象者数の推計人口に占める割合



図表 5-1-1 より作成

## 5.2. 年齢階級別にみた高齢者の疾患数と使用内服医薬品種類累計数

### (1) 年齢階級別にみた高齢者の疾患数

当該月に前述の除外医薬品を除く何らかの内服医薬品を使用した者の ICD コード別疾患数(疑い病名を除く)をみたものが図表 5-2-1-1 である。高齢になるにしたがって病名が増える傾向がみられる。なお、10 疾患以上が極めて多数となっているのは、NDB が複数の医療機関での病名を合わせてみることができ一方、治癒または治療終了が診療で確認されていない場合、そのまま記録が残存するという性質をもつためではないかと考えられる。このため、図表 5-2-1-2 では、10 疾患以上の群を除いて年齢階級の疾患数分布をグラフ化した。

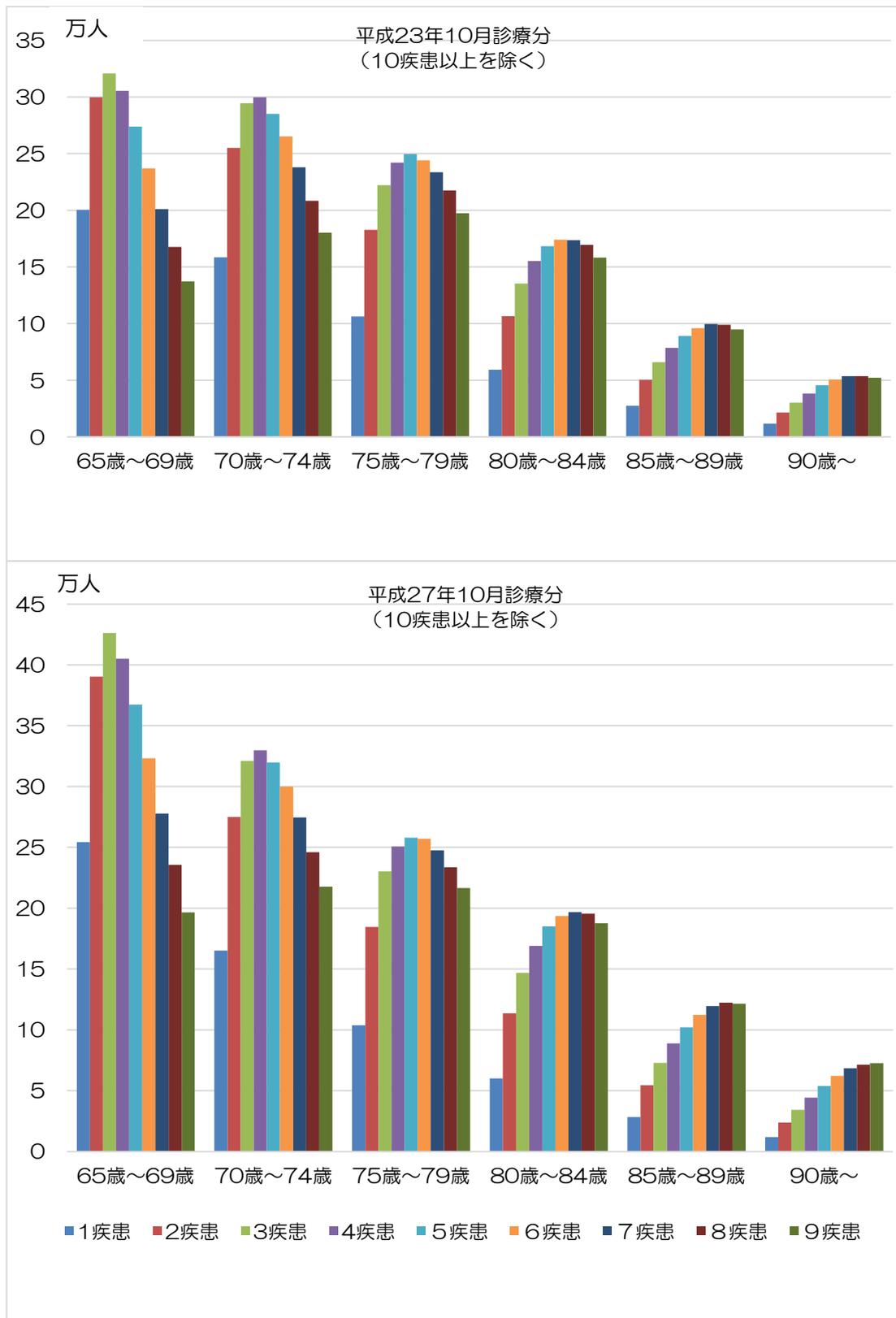
平成 23 (2011)年に比べ、平成 27 (2015)年のほうが、80 歳以上の年齢階級において、最頻カテゴリーの疾患数が増えている。

図表 5-2-1-1 年齢階級別診断疾患数別患者数  
 (各年齢階級における最頻カテゴリーを太枠で囲んで示した。)

平成 23 年 10 月診療分						
	65歳~69歳	70歳~74歳	75歳~79歳	80歳~84歳	85歳~89歳	90歳~
1 疾患	200,505	158,581	106,184	59,311	27,559	11,688
2 疾患	299,806	255,088	182,721	106,424	50,536	21,625
3 疾患	<b>320,929</b>	294,447	222,120	135,415	66,048	30,304
4 疾患	305,440	<b>299,746</b>	242,149	155,390	78,668	38,225
5 疾患	273,994	285,156	<b>249,544</b>	168,401	89,016	45,610
6 疾患	237,088	265,090	244,158	<b>174,064</b>	95,995	50,745
7 疾患	201,119	237,836	233,584	173,647	<b>99,595</b>	<b>53,623</b>
8 疾患	167,713	208,349	217,514	169,426	98,955	53,573
9 疾患	137,241	180,229	197,521	158,314	94,740	52,165
10 疾患以上	585,047	886,646	1,151,506	1,037,930	639,693	323,757
平成 27 年 10 月診療分						
	65歳~69歳	70歳~74歳	75歳~79歳	80歳~84歳	85歳~89歳	90歳~
1 疾患	254,386	165,163	103,704	60,083	28,232	11,817
2 疾患	390,413	275,087	184,602	113,625	54,479	23,817
3 疾患	<b>426,154</b>	<b>321,132</b>	230,231	146,863	72,918	34,207
4 疾患	405,043	<b>329,814</b>	250,790	169,032	88,756	44,356
5 疾患	367,465	319,812	<b>257,958</b>	184,940	102,004	53,767
6 疾患	323,179	299,893	257,205	193,469	112,286	62,177
7 疾患	277,772	274,606	247,568	<b>196,768</b>	119,534	68,268
8 疾患	235,618	246,073	233,622	195,450	<b>122,364</b>	71,380
9 疾患	196,606	217,631	216,486	187,627	121,446	<b>72,611</b>
10 疾患以上	938,356	1,239,991	1,482,385	1,488,010	1,028,282	577,897

集計表⑥の疾患数別年齢階級別総数として算出

図表 5-2-1-2 年齢階級別診断疾患数別患者数



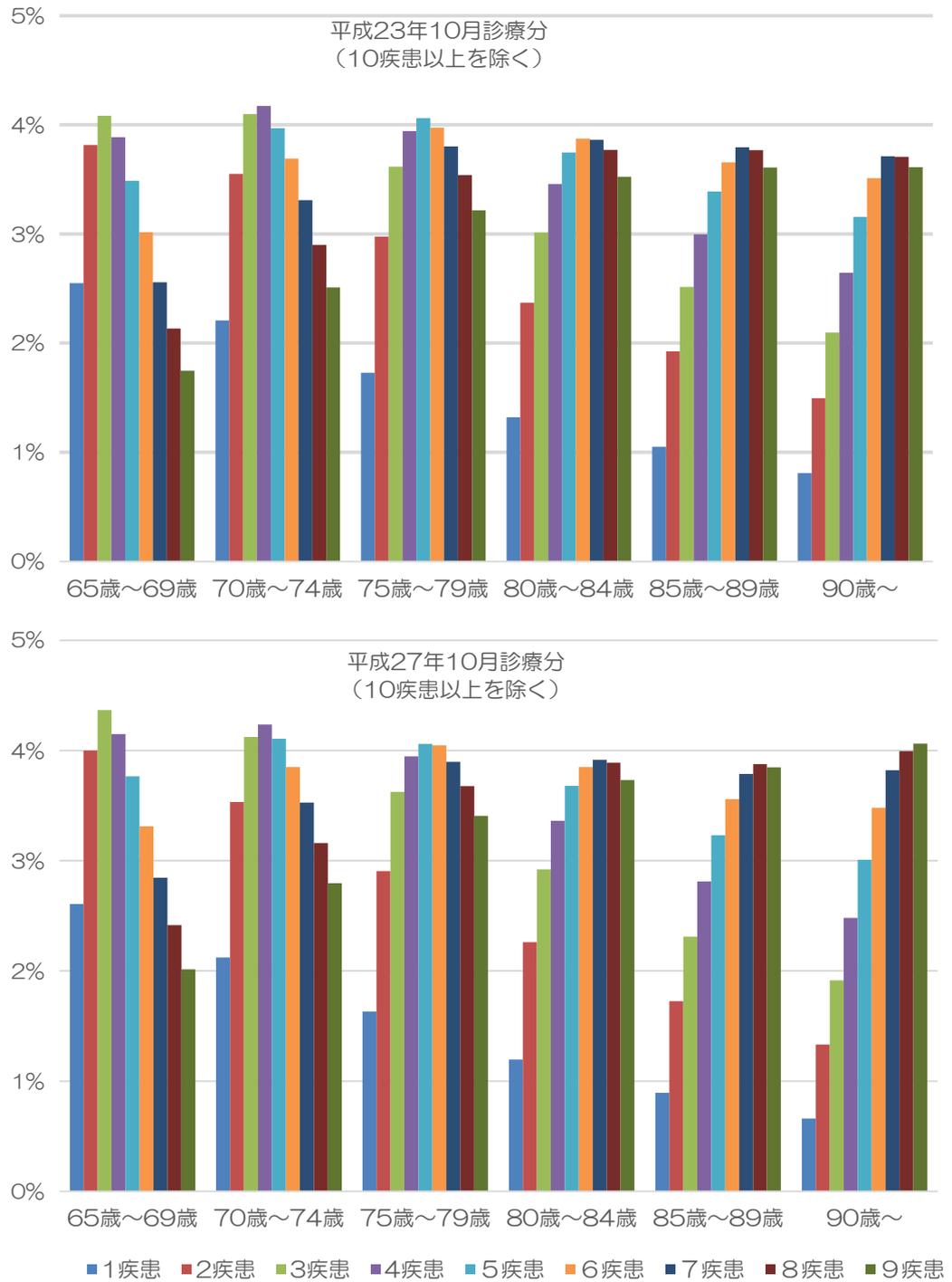
図表 5-2-1-1 より作成

図表 5-2-1-3 診断疾患数別の年齢階級別人口比  
 (各年齢階級における最頻カテゴリーを太枠で囲んで示した。)

平成 23 年 10 月診療分						
	65歳~69歳	70歳~74歳	75歳~79歳	80歳~84歳	85歳~89歳	90歳~
1 疾患	2.6%	2.2%	1.7%	1.3%	1.0%	0.8%
2 疾患	3.8%	3.6%	3.0%	2.4%	1.9%	1.5%
3 疾患	4.1%	4.1%	3.6%	3.0%	2.5%	2.1%
4 疾患	3.9%	4.2%	3.9%	3.5%	3.0%	2.6%
5 疾患	3.5%	4.0%	4.1%	3.7%	3.4%	3.2%
6 疾患	3.0%	3.7%	4.0%	3.9%	3.7%	3.5%
7 疾患	2.6%	3.3%	3.8%	3.9%	3.8%	3.7%
8 疾患	2.1%	2.9%	3.5%	3.8%	3.8%	3.7%
9 疾患	1.7%	2.5%	3.2%	3.5%	3.6%	3.6%
10 疾患以上	7.4%	12.3%	18.7%	23.1%	24.4%	22.4%
平成 27 年 10 月診療分						
	65歳~69歳	70歳~74歳	75歳~79歳	80歳~84歳	85歳~89歳	90歳~
1 疾患	2.6%	2.1%	1.6%	1.2%	0.9%	0.7%
2 疾患	4.0%	3.5%	2.9%	2.3%	1.7%	1.3%
3 疾患	4.4%	4.1%	3.6%	2.9%	2.3%	1.9%
4 疾患	4.2%	4.2%	3.9%	3.4%	2.8%	2.5%
5 疾患	3.8%	4.1%	4.1%	3.7%	3.2%	3.0%
6 疾患	3.3%	3.9%	4.0%	3.8%	3.6%	3.5%
7 疾患	2.8%	3.5%	3.9%	3.9%	3.8%	3.8%
8 疾患	2.4%	3.2%	3.7%	3.9%	3.9%	4.0%
9 疾患	2.0%	2.8%	3.4%	3.7%	3.8%	4.1%
10 疾患以上	9.6%	15.9%	23.3%	29.6%	32.6%	32.3%

図表 5-2-1-1 および年齢階級別推計人口(単位：千人、総務省統計局作成の人口推計  
<http://www.stat.go.jp/data/jinsui/2.htm> を元に 90 歳以上をまとめて作成)より作成

図表 5-2-1-4 診断疾患数別の年齢階級別人口比



図表 5-2-1-3 より作成

## (2) 年齢階級別にみた高齢者の院外調剤内服医薬品の使用種類数

当該月に前述の除外医薬品を除く院外調剤の内服医薬品を使用した者における医薬品使用種類数別人数をみたものが図表 5-2-2-1 である。各年齢階級における最頻カテゴリーを表内太枠で囲んだ。前項で示したとおり、年齢階級別に高齢になるにしたがって病名が増える傾向がみられるなか、最頻医薬品数は 80 歳未満では 2 剤、80-84 歳では 3-4 剤、85 歳以上では 4-5 剤となっていた。

また、外来内服医薬品の使用種類数別年齢階級人口比も、図表 5-2-2-3 のとおり、高齢になるにつれて増える傾向がみられる。

平成 23 (2011) 年に比べ、平成 27 (2015) 年のほうが、80 歳以上の年齢階級において、最頻カテゴリーの疾患数が増えている。

今回の集計は院外処方に限ったことから、院内処方、入院中の処方含まれていないことに留意する必要がある。さらに、4.1. で述べたとおり、今回は対象期間を 1 か月としたため、高血圧や糖尿病等に対する 90 日処方等慢性疾患用薬が計算上 3 分の 1 しかカウントされていないため、『少なくとも』上述の結果数は使用されていると捉える必要がある。

図表 5-2-2-1 院外調剤内服医薬品使用種類数別患者数  
(各年齢階級における最頻カテゴリーを太枠で囲んで示した。)

平成 23 年 10 月診療分						
医薬品数	65歳~69歳	70歳~74歳	75歳~79歳	80歳~84歳	85歳~89歳	90歳~
1 剤	599,642	535,073	403,143	249,985	125,804	65,975
2 剤	<b>617,432</b>	<b>593,412</b>	<b>473,925</b>	301,656	154,668	81,091
3 剤	487,258	513,877	446,873	<b>305,745</b>	163,792	89,915
4 剤	363,464	419,569	403,911	296,420	<b>168,704</b>	<b>92,214</b>
5 剤	264,509	332,015	348,833	276,065	164,436	89,398
6 剤	187,359	252,991	290,031	244,202	149,935	79,902
7 剤	130,258	187,577	229,243	204,043	127,629	65,638
8 剤	87,946	135,353	175,406	162,162	102,543	50,313
9 剤	59,782	95,089	129,863	122,718	78,176	37,082
10 剤	39,820	65,616	92,321	90,743	57,054	25,771
11 剤	26,045	44,667	64,906	63,886	39,933	17,292
12 剤	17,228	30,417	44,621	44,078	26,956	11,176
13 剤	11,353	20,041	29,961	30,037	17,803	6,862
14 剤	7,515	13,336	19,956	19,427	11,250	4,256
15 剤	5,049	8,614	12,952	12,592	6,942	2,462
16 剤以上	10,305	16,764	24,410	22,158	11,614	3,452
平成 27 年 10 月診療分						
医薬品数	65歳~69歳	70歳~74歳	75歳~79歳	80歳~84歳	85歳~89歳	90歳~
1 剤	708,821	552,930	401,949	265,718	138,517	72,263
2 剤	<b>771,182</b>	<b>637,686</b>	<b>487,115</b>	<b>328,683</b>	171,533	90,333
3 剤	632,328	563,252	464,400	<b>334,900</b>	184,084	102,180
4 剤	494,572	476,883	428,248	334,711	<b>196,402</b>	<b>113,413</b>
5 剤	375,541	391,321	379,721	321,608	<b>202,808</b>	<b>118,890</b>
6 剤	276,912	310,510	324,978	296,206	197,574	116,406
7 剤	198,217	237,302	265,523	259,055	179,574	105,465
8 剤	141,072	177,085	209,346	215,888	154,623	88,884
9 剤	99,005	129,432	161,005	173,110	126,304	70,782
10 剤	67,657	92,300	120,470	133,368	98,312	52,778
11 剤	46,605	65,050	87,261	99,219	73,372	38,051
12 剤	31,452	45,166	61,858	71,128	52,791	26,127
13 剤	21,189	30,750	42,751	49,785	36,355	17,416
14 剤	14,285	21,172	29,425	33,899	24,511	11,021
15 剤	9,737	14,102	19,703	22,761	16,076	7,040
16 剤以上	20,545	28,335	38,771	43,259	28,475	10,876

集計表②

図表 5-2-2 院外調剤内服医薬品使用種類数別患者数

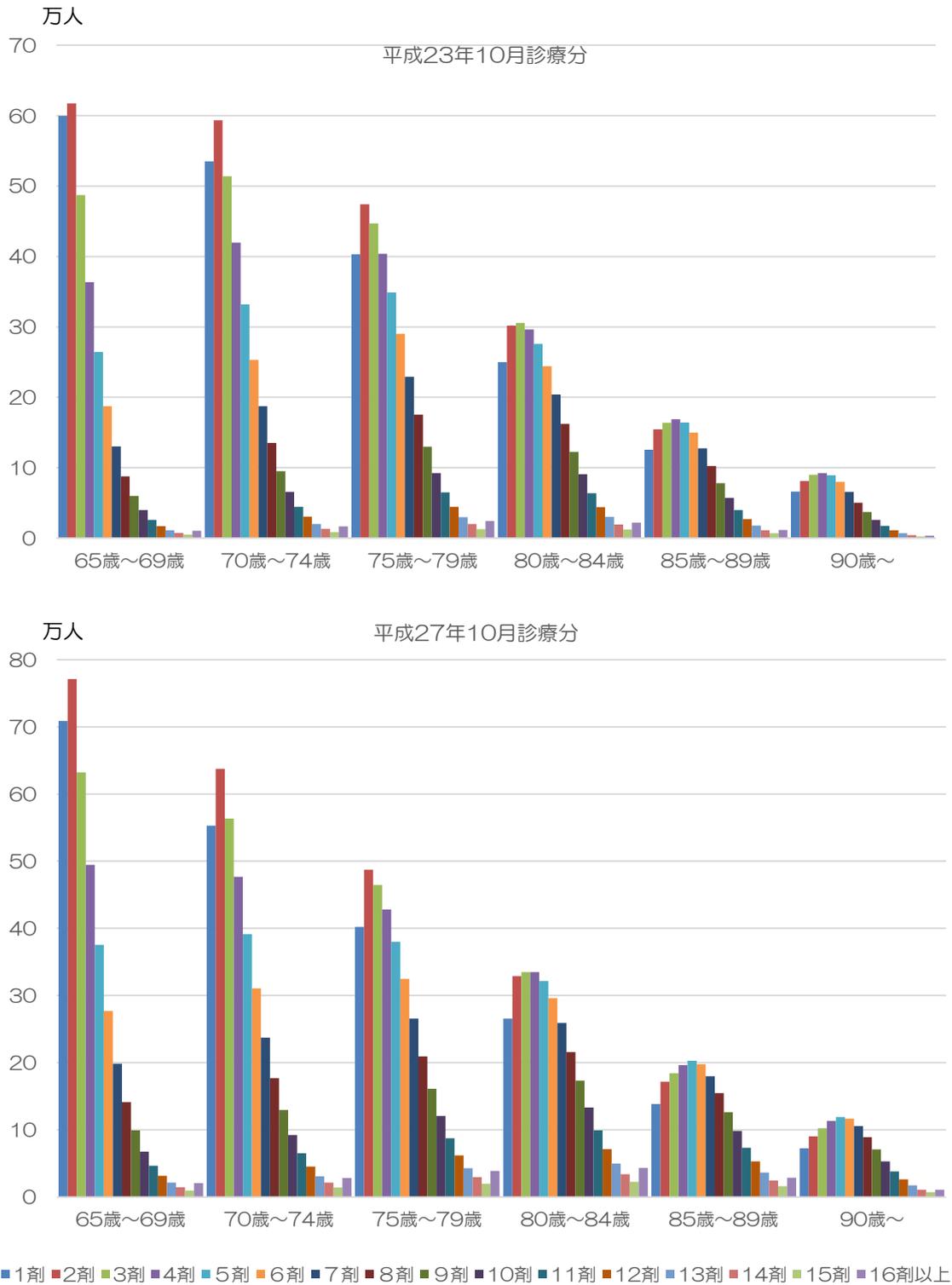


図 5-2-2-1 より作成

図表 5-2-2-3 院外調剤内服医薬品使用種類数別年齢階級人口比  
(各年齢階級における最頻カテゴリーを太枠で囲んで示した。)

平成 23 年 10 月診療分						
医薬品数	65歳~69歳	70歳~74歳	75歳~79歳	80歳~84歳	85歳~89歳	90歳~
1 剤	7.6%	7.4%	6.6%	5.6%	4.8%	4.6%
2 剤	7.9%	8.3%	7.7%	6.7%	5.9%	5.6%
3 剤	6.2%	7.2%	7.3%	6.8%	6.2%	6.2%
4 剤	4.6%	5.8%	6.6%	6.6%	6.4%	6.4%
5 剤	3.4%	4.6%	5.7%	6.1%	6.3%	6.2%
6 剤	2.4%	3.5%	4.7%	5.4%	5.7%	5.5%
7 剤	1.7%	2.6%	3.7%	4.5%	4.9%	4.5%
8 剤	1.1%	1.9%	2.9%	3.6%	3.9%	3.5%
9 剤	0.8%	1.3%	2.1%	2.7%	3.0%	2.6%
10 剤	0.5%	0.9%	1.5%	2.0%	2.2%	1.8%
11 剤	0.3%	0.6%	1.1%	1.4%	1.5%	1.2%
12 剤	0.2%	0.4%	0.7%	1.0%	1.0%	0.8%
13 剤	0.1%	0.3%	0.5%	0.7%	0.7%	0.5%
14 剤	0.1%	0.2%	0.3%	0.4%	0.4%	0.3%
15 剤	0.1%	0.1%	0.2%	0.3%	0.3%	0.2%
16 剤以上	0.1%	0.2%	0.4%	0.5%	0.4%	0.2%
平成 27 年 10 月診療分						
医薬品数	65歳~69歳	70歳~74歳	75歳~79歳	80歳~84歳	85歳~89歳	90歳~
1 剤	7.3%	7.1%	6.3%	5.3%	4.4%	4.0%
2 剤	7.9%	8.2%	7.7%	6.5%	5.4%	5.1%
3 剤	6.5%	7.2%	7.3%	6.7%	5.8%	5.7%
4 剤	5.1%	6.1%	6.7%	6.7%	6.2%	6.3%
5 剤	3.8%	5.0%	6.0%	6.4%	6.4%	6.7%
6 剤	2.8%	4.0%	5.1%	5.9%	6.3%	6.5%
7 剤	2.0%	3.0%	4.2%	5.2%	5.7%	5.9%
8 剤	1.4%	2.3%	3.3%	4.3%	4.9%	5.0%
9 剤	1.0%	1.7%	2.5%	3.4%	4.0%	4.0%
10 剤	0.7%	1.2%	1.9%	2.7%	3.1%	3.0%
11 剤	0.5%	0.8%	1.4%	2.0%	2.3%	2.1%
12 剤	0.3%	0.6%	1.0%	1.4%	1.7%	1.5%
13 剤	0.2%	0.4%	0.7%	1.0%	1.2%	1.0%
14 剤	0.1%	0.3%	0.5%	0.7%	0.8%	0.6%
15 剤	0.1%	0.2%	0.3%	0.5%	0.5%	0.4%
16 剤以上	0.2%	0.4%	0.6%	0.9%	0.9%	0.6%

集計表②および年齢階級別推計人口(単位：千人、総務省統計局作成の人口推計  
<http://www.stat.go.jp/data/jinsui/2.htm> を元に 90 歳以上をまとめて作成)より作成

図表 5-2-2-4 院外調剤内服医薬品使用種類数別年齢階級人口比

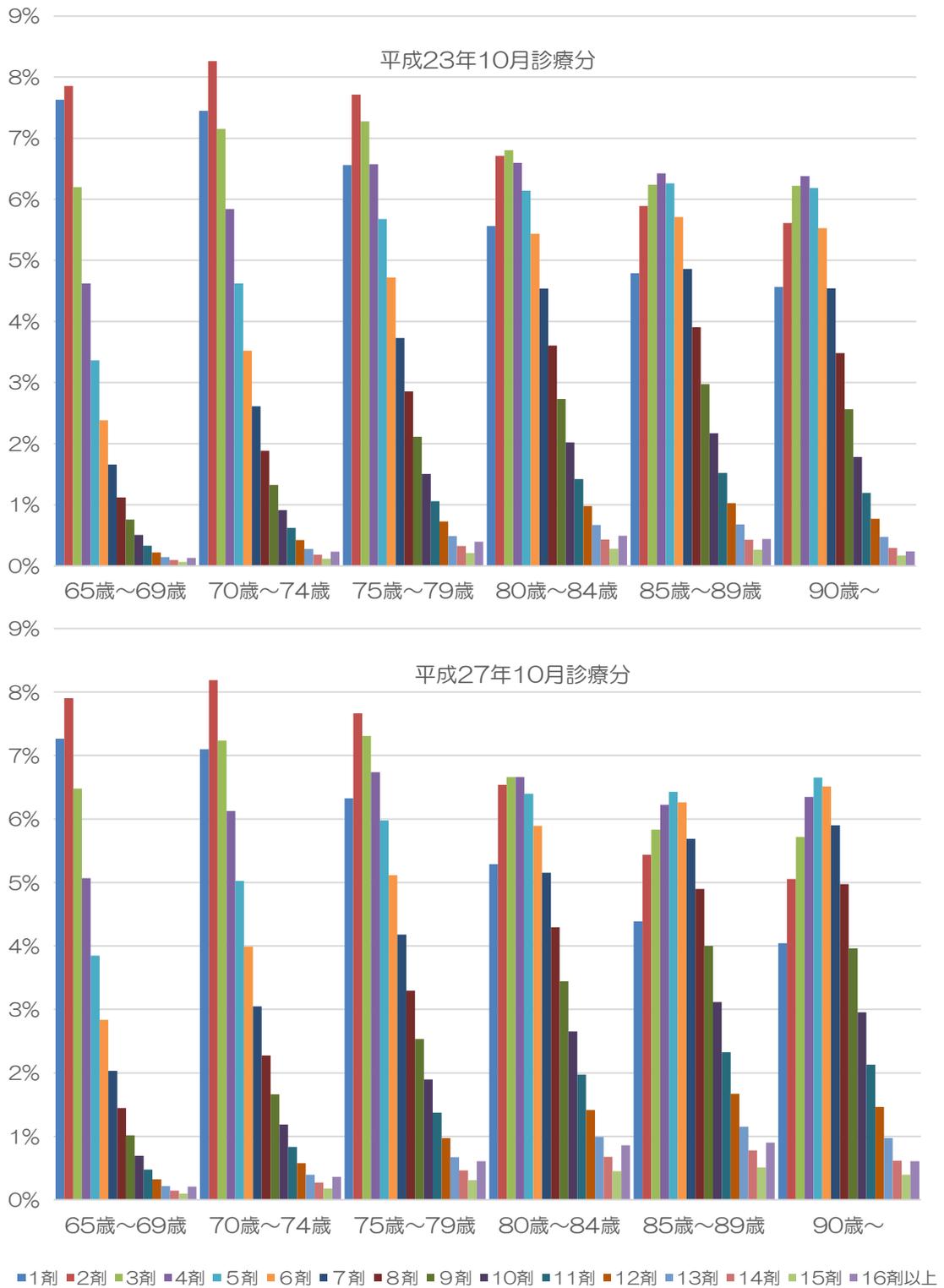


図 5-2-2-3 より作成

### (3) 薬局ごとの疾患数と使用医薬品種類数

調剤レセプトごとに医科外来レセプトと紐づけして得られた使用医薬品種類数の年別、年齢階級別頻度をみたものが図表 5-2-3-1 である。なお、診断疾患数別使用医薬品種類数の年別、年齢階級別集計表は巻末に掲載する。

図表 5-2-3-1 の最頻値を外来内服医薬品使用種類数別患者数における最頻値(図表 5-2-2-1)と比べると、薬局単位では特に高齢者において、使用種類数は少なくなっており、患者が調剤薬局を使い分けているのではないかと考えられる。

図表 5-2-3-1 薬局ごとの使用医薬品種類数別人数(年別、年齢階級別)  
(各年齢階級における最頻カテゴリーを太枠で囲んで示した。)

平成 23 年 10 月調剤分						
	65 歳～69 歳	70 歳～74 歳	75 歳～79 歳	80 歳～84 歳	85 歳～89 歳	90 歳～
1 剤	744,485	752,923	653,049	431,850	211,654	93,882
2 剤	720,129	760,259	672,692	445,118	218,728	98,755
3 剤	522,753	586,658	550,860	384,027	196,607	96,815
4 剤	361,274	434,820	443,889	330,956	183,365	93,286
5 剤	246,126	318,378	352,623	284,458	166,979	87,283
6 剤	164,953	227,594	273,623	236,979	145,627	75,970
7 剤	108,629	159,264	202,979	187,551	118,543	61,189
8 剤	70,326	108,650	147,766	141,924	92,300	45,647
9 剤	45,701	72,769	104,480	102,608	67,508	32,752
10 剤	30,878	51,221	74,406	76,355	50,120	23,412
11 剤	19,639	33,446	49,814	50,939	33,689	15,309
12 剤	12,693	21,789	32,564	33,510	21,697	9,690
13 剤	8,068	13,636	20,658	21,618	13,779	5,769
14 剤	5,148	8,709	12,960	13,510	8,401	3,385
15 剤	3,321	5,296	8,051	8,220	4,887	1,811
16 剤以上	6,402	9,439	13,008	12,366	7,098	2,395
平成 27 年 10 月調剤分						
	65 歳～69 歳	70 歳～74 歳	75 歳～79 歳	80 歳～84 歳	85 歳～89 歳	90 歳～
1 剤	950,226	847,742	714,787	521,788	274,166	121,211
2 剤	976,937	893,620	761,998	551,309	283,789	126,133
3 剤	732,924	696,371	619,673	467,136	250,159	121,633
4 剤	526,587	531,252	504,923	407,336	233,997	123,826
5 剤	371,533	400,054	406,772	354,638	221,893	123,831
6 剤	258,633	295,543	322,974	304,463	204,503	117,395
7 剤	174,531	212,687	247,191	250,373	176,926	103,678
8 剤	117,918	149,544	183,954	197,881	146,321	85,336
9 剤	79,405	103,816	134,726	151,111	115,284	66,153
10 剤	53,536	73,009	97,011	112,900	87,981	49,258
11 剤	35,146	48,694	66,786	80,225	62,982	34,387
12 剤	22,996	32,596	45,306	54,670	43,254	22,929
13 剤	15,090	21,319	29,728	36,678	28,432	14,866
14 剤	9,833	14,009	19,547	23,720	18,412	9,036
15 剤	6,460	8,979	12,491	15,157	11,555	5,604
16 剤以上	12,543	16,211	21,047	24,366	17,763	7,603

集計表①

### 5.3. STOPP-J 対象医薬品の使用状況

#### (1) STOPP-J 対象医薬品の使用状況

日本老年医学会の「特に慎重な投与を要する薬物のリスト(STOPP-J)」掲載対象薬効群の使用状況の各年齢階級人数をみた集計表③は巻末に掲載した。

平成 27 (2015)年の使用者総数の多い対象薬効群順に並べたものを図表 5-3-1-1 および図表 5-3-1-2 に示す。また、図表 5-3-1-1 から各年齢階級人口における使用者割合を算出したものおよびそのグラフ化が図表 5-3-1-3 および図表 5-3-1-4 である。

有病者の多い疾患への作用薬を使用する割合は高くなるが、とくに利尿剤、緩下剤は年齢階級が上がるにつれて使用者の割合が高まっている。

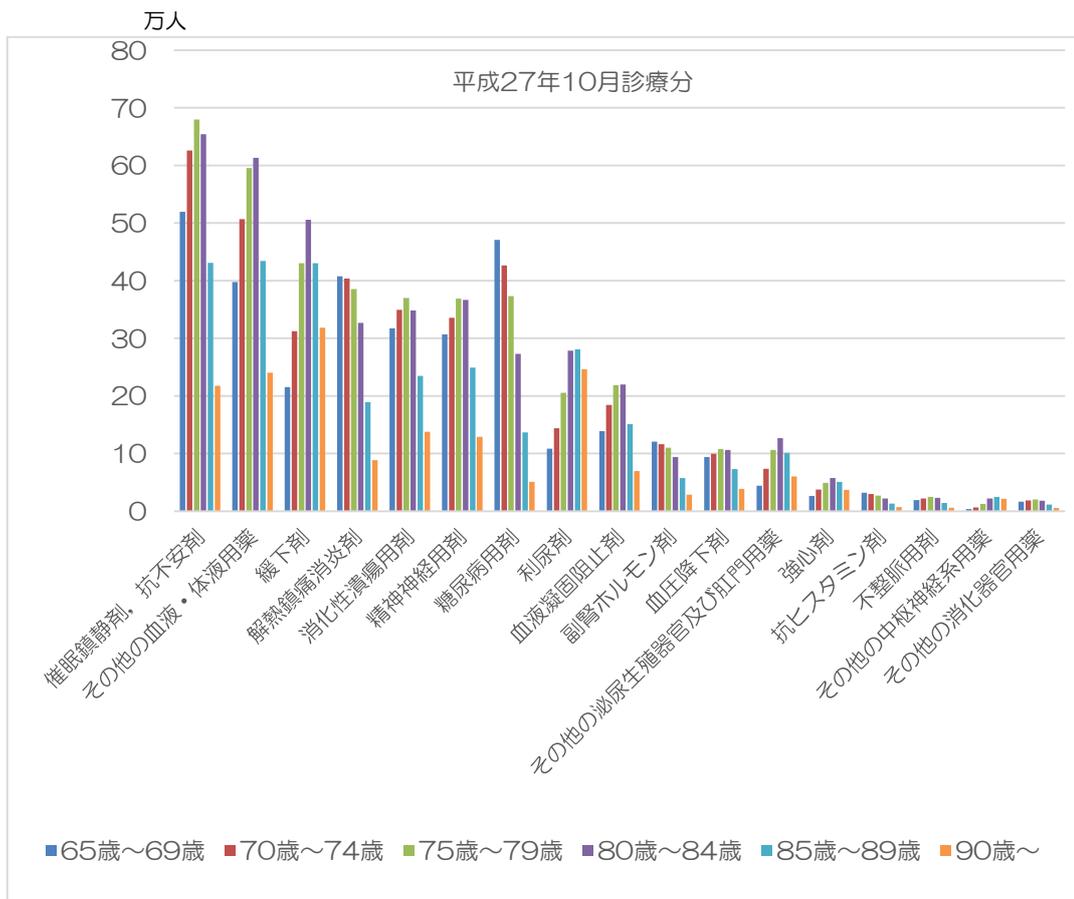
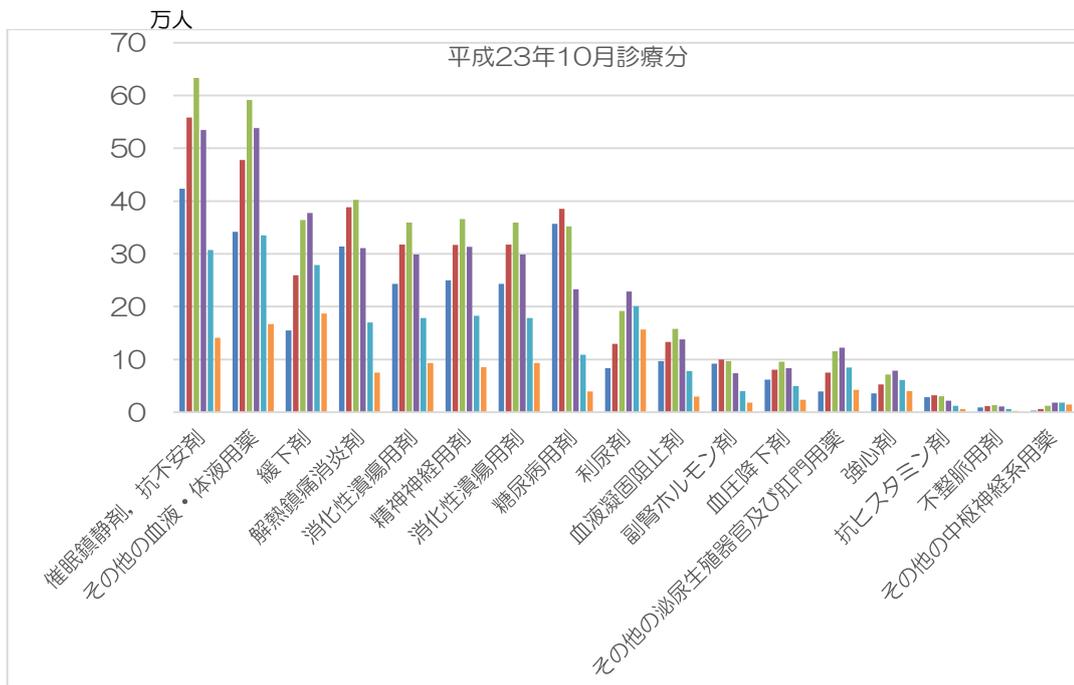
また、平成 23 (2011)年に比べ、平成 27 (2015)年のほうが、各年齢階級において、最頻カテゴリーの疾患数が増えている。

図表 5-3-1-1 年齢階級別 STOPP-J 対象薬効医薬品の使用状況

	平成 23 年 10 月診療分					
	65歳~69歳	70歳~74歳	75歳~79歳	80歳~84歳	85歳~89歳	90歳~
催眠鎮静剤, 抗不安剤	423,128	558,224	633,026	534,552	307,243	141,096
その他の血液・体液用薬	341,655	477,575	591,654	538,123	335,304	166,682
緩下剤	154,879	259,707	363,836	377,274	279,061	186,912
解熱鎮痛消炎剤	314,078	388,227	401,969	310,710	170,257	75,102
消化性潰瘍用剤	243,025	317,348	359,162	298,970	178,667	93,098
精神神経用剤	249,580	317,172	366,041	313,286	182,920	85,121
消化性潰瘍用剤	243,025	317,348	359,162	298,970	178,667	93,098
糖尿病用剤	357,094	385,312	351,975	232,980	108,699	39,191
利尿剤	83,199	129,672	191,741	228,807	200,957	156,658
血液凝固阻止剤	96,630	133,019	157,974	137,923	77,854	29,525
副腎ホルモン剤	91,672	100,100	96,660	73,609	39,786	18,084
血圧降下剤	61,942	80,293	95,615	83,753	49,888	23,690
その他の泌尿生殖器官及び肛門用薬	39,381	74,821	115,734	122,086	84,602	42,333
強心剤	35,777	52,882	71,505	78,345	61,018	40,147
抗ヒスタミン剤	28,643	32,105	30,068	21,813	12,416	6,320
不整脈用剤	8,962	11,407	13,061	10,928	6,049	2,539
その他の中枢神経系用薬	2,833	6,064	12,072	18,024	17,991	14,488
その他の消化器官用薬	11,022	14,293	16,390	13,775	8,305	4,152
	平成 27 年 10 月診療分					
	65歳~69歳	70歳~74歳	75歳~79歳	80歳~84歳	85歳~89歳	90歳~
催眠鎮静剤, 抗不安剤	519,352	625,920	679,904	653,896	431,135	217,554
その他の血液・体液用薬	397,513	506,834	595,255	613,150	434,314	240,037
緩下剤	215,598	312,497	430,087	505,884	430,422	318,571
解熱鎮痛消炎剤	407,865	403,451	385,355	326,621	189,164	88,349
消化性潰瘍用剤	317,321	349,202	369,841	348,457	234,585	137,537
精神神経用剤	306,748	335,562	368,793	366,537	249,260	128,985
糖尿病用剤	470,678	426,535	373,340	273,223	136,407	50,634
利尿剤	108,211	143,836	205,485	278,591	280,940	246,515
血液凝固阻止剤	138,953	184,283	218,903	219,899	151,109	69,483
副腎ホルモン剤	120,757	116,332	109,855	93,740	57,695	28,591
血圧降下剤	94,238	99,749	108,009	105,996	73,188	38,537
その他の泌尿生殖器官及び肛門用薬	44,280	73,598	106,269	126,842	101,293	60,328
強心剤	26,498	37,439	48,947	57,696	50,707	37,198
抗ヒスタミン剤	32,114	29,648	27,057	22,027	13,275	6,976
不整脈用剤	19,191	22,079	24,918	23,055	14,048	5,944
その他の中枢神経系用薬	3,597	6,617	12,698	22,155	24,867	21,491
その他の消化器官用薬	16,660	18,765	20,192	18,311	11,679	5,600
抗パーキンソン剤	24,324	16,990	13,596	9,721	5,195	2,389

集計表③より作成

図表 5-3-1-2 年齢階級別 STOPP-J 対象薬効医薬品の使用状況



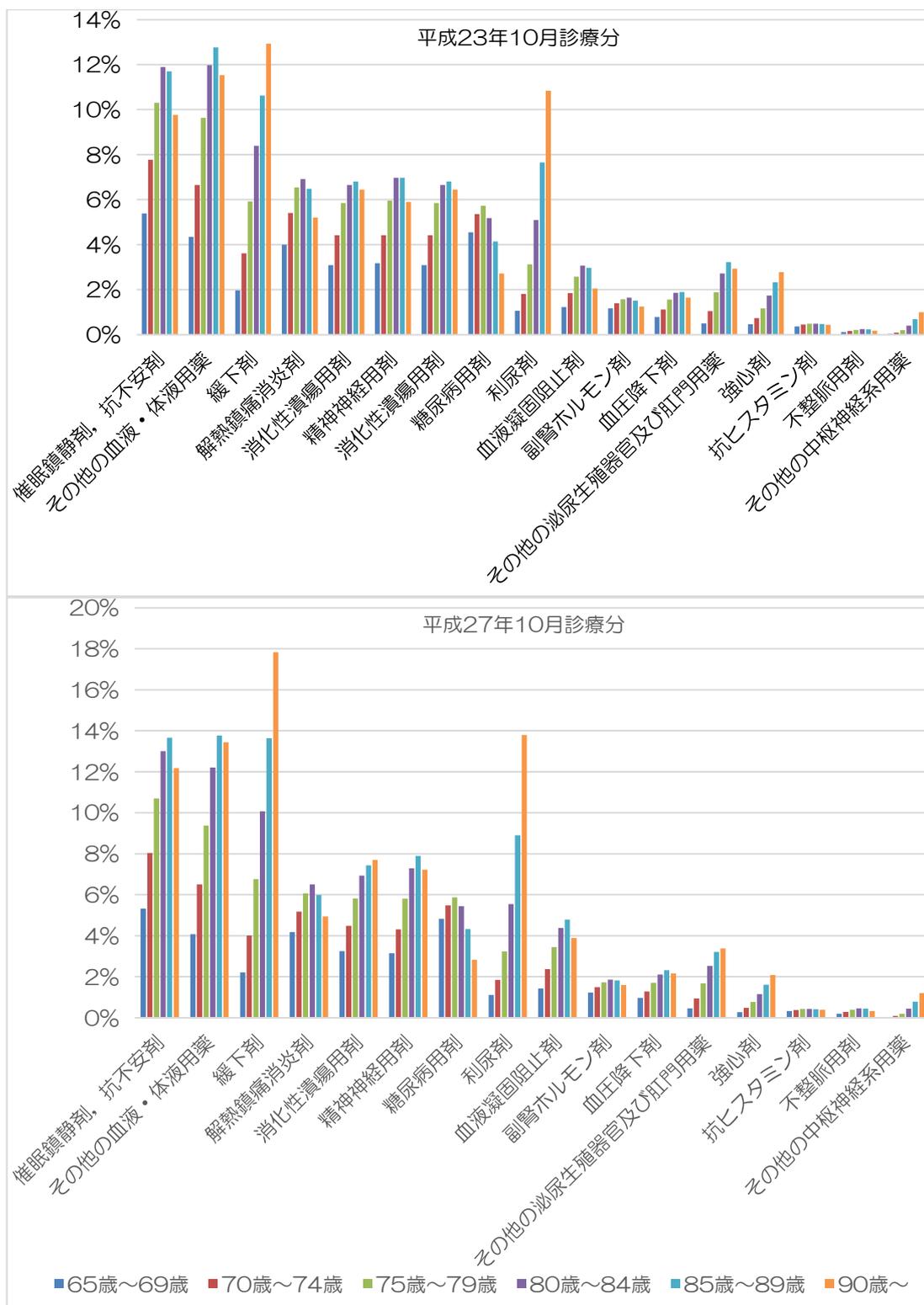
図表 5-3-1-1 より作成

図表 5-3-1-3 STOPP-J 対象薬効医薬品の使用状況の年齢階級別人口比

	平成 23 年 10 月診療分					
	65歳~69歳	70歳~74歳	75歳~79歳	80歳~84歳	85歳~89歳	90歳~
催眠鎮静剤, 抗不安剤	5.4%	7.8%	10.3%	11.9%	11.7%	9.8%
その他の血液・体液用薬	4.3%	6.6%	9.6%	12.0%	12.8%	11.5%
緩下剤	2.0%	3.6%	5.9%	8.4%	10.6%	12.9%
解熱鎮痛消炎剤	4.0%	5.4%	6.5%	6.9%	6.5%	5.2%
消化性潰瘍用剤	3.1%	4.4%	5.8%	6.7%	6.8%	6.4%
精神神経用剤	3.2%	4.4%	6.0%	7.0%	7.0%	5.9%
消化性潰瘍用剤	3.1%	4.4%	5.8%	6.7%	6.8%	6.4%
糖尿病用剤	4.5%	5.4%	5.7%	5.2%	4.1%	2.7%
利尿剤	1.1%	1.8%	3.1%	5.1%	7.7%	10.8%
血液凝固阻止剤	1.2%	1.9%	2.6%	3.1%	3.0%	2.0%
副腎ホルモン剤	1.2%	1.4%	1.6%	1.6%	1.5%	1.3%
血圧降下剤	0.8%	1.1%	1.6%	1.9%	1.9%	1.6%
その他の泌尿生殖器官 及び肛門用薬	0.5%	1.0%	1.9%	2.7%	3.2%	2.9%
強心剤	0.5%	0.7%	1.2%	1.7%	2.3%	2.8%
抗ヒスタミン剤	0.4%	0.4%	0.5%	0.5%	0.5%	0.4%
不整脈用剤	0.1%	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%
その他の中枢神経系用薬	0.0%	0.1%	0.2%	0.4%	0.7%	1.0%
その他の消化器官用薬	0.1%	0.2%	0.3%	0.3%	0.3%	0.3%
	平成 27 年 10 月診療分					
	65歳~69歳	70歳~74歳	75歳~79歳	80歳~84歳	85歳~89歳	90歳~
催眠鎮静剤, 抗不安剤	5.3%	8.0%	10.7%	13.0%	13.7%	12.2%
その他の血液・体液用薬	4.1%	6.5%	9.4%	12.2%	13.8%	13.4%
緩下剤	2.2%	4.0%	6.8%	10.1%	13.6%	17.8%
解熱鎮痛消炎剤	4.2%	5.2%	6.1%	6.5%	6.0%	4.9%
消化性潰瘍用剤	3.3%	4.5%	5.8%	6.9%	7.4%	7.7%
精神神経用剤	3.1%	4.3%	5.8%	7.3%	7.9%	7.2%
糖尿病用剤	4.8%	5.5%	5.9%	5.4%	4.3%	2.8%
利尿剤	1.1%	1.8%	3.2%	5.5%	8.9%	13.8%
血液凝固阻止剤	1.4%	2.4%	3.4%	4.4%	4.8%	3.9%
副腎ホルモン剤	1.2%	1.5%	1.7%	1.9%	1.8%	1.6%
血圧降下剤	1.0%	1.3%	1.7%	2.1%	2.3%	2.2%
その他の泌尿生殖器官 及び肛門用薬	0.5%	0.9%	1.7%	2.5%	3.2%	3.4%
強心剤	0.3%	0.5%	0.8%	1.1%	1.6%	2.1%
抗ヒスタミン剤	0.3%	0.4%	0.4%	0.4%	0.4%	0.4%
不整脈用剤	0.2%	0.3%	0.4%	0.5%	0.4%	0.3%
その他の中枢神経系用薬	0.0%	0.1%	0.2%	0.4%	0.8%	1.2%
その他の消化器官用薬	0.2%	0.2%	0.3%	0.4%	0.4%	0.3%
抗パーキンソン剤	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%	0.1%

集計表③および総務省統計局作成の年齢階級別推計人口より作成

図表 5-3-1-4 STOPP-J 対象薬効医薬品の使用状況の年齢階級別人口比



図表 5-3-1-3 より作成

## (2) STOPP-J 対象医薬品の同一薬効内使用医薬品数

STOPP-J 掲載医薬品において、同一薬効内の使用医薬品数を各年齢階級別人数でみた集計表④は巻末に掲載する。ただし、一つのカテゴリー内人数が一年齢階級でも 10 人を下回る場合があれば、「〇剤またはそれ以上」として数字を合計して示した。

日本老年医学会の「高齢者の安全な薬物療法ガイドライン 2015」において、STOPP-J は、75 歳以上の高齢者および 75 歳未満でもフレイル～要介護状態で、慢性期、特に 1 か月以上の長期投与を基本的な適用対象とする、とされている。

ここでは、75 歳以上総数の同一薬効内の使用医薬品数を図表 5-3-2-1 に示す。

なお、5.2.2. (2)と同様に、今回の集計は院外処方に限ったことから、院内処方、入院中の処方含まれていないことに留意する必要がある。さらに、4.1.で述べたとおり、今回は対象期間を 1 か月としたため、高血圧や糖尿病等に対する 90 日処方等慢性疾患用薬が計算上 3 分の 1 しかカウントされていないため、『少なくとも』上述の結果数は使用されている、と捉える必要がある。

また、同一薬効分類のなかでも、たとえば、「その他の血液・体液用薬」には薬効の異なる抗血小板薬と抗凝固薬が含まれるカテゴリーがある一方、規格の異なる同一成分薬が異なる薬効分類に掲載されているために重複はしないものの別にカウントされることにも留意が必要である(例：アスピリン)。

図表 5-3-2-1 75歳以上の STOPP-J 対象医薬品同一薬効内医薬品数別使用者数

平成 23 年 10 月診療分		
	投与薬剤数	75 歳～
催眠鎮静剤, 抗不安剤	1 剤	1376173
	2 剤	202928
	3 剤	30229
	4 剤	5239
	5 剤以上	1348
糖尿病用剤	1 剤	469212
	2 剤	203257
	3 剤	53027
	4 剤	6969
	5 剤以上	380
精神神経用剤	1 剤	852042
	2 剤	84766
	3 剤	9170
	4 剤以上	1390
利尿剤	1 剤	604589
	2 剤	161623
	3 剤	11302
	4 剤以上	649
解熱鎮痛消炎剤	1 剤	920859
	2 剤	35804
	3 剤以上	1375
緩下剤	1 剤	1194085
	2 剤	12855
	3 剤以上	143
副腎ホルモン剤	1 剤	216446
	2 剤	11563
	3 剤以上	130
その他の泌尿生殖器官及び 肛門用薬	1 剤	357041
	2 剤	7536
	3 剤以上	178
血液凝固阻止剤	1 剤	312633
	2 剤	90189
	3 剤以上	454
その他の血液・体液用薬	1 剤	1462710
	2 剤	166391
	3 剤以上	2662
抗パーキンソン剤	1 剤	31775
	2 剤以上	617
その他の中枢神経系用薬	1 剤	61828
	2 剤以上	747
強心剤	1 剤	249730
	2 剤以上	1285
血圧降下剤	1 剤	246541
	2 剤以上	6405
消化性潰瘍用剤	1 剤	910464
	2 剤以上	19433
抗ヒスタミン剤	1 剤	69721
	2 剤以上	896
不整脈用剤	1 剤または複数	32577
その他の消化器官用薬	1 剤または複数	42622

平成 27 年 10 月診療分		
	投与薬剤数	75 歳～
催眠鎮静剤, 抗不安剤	1 剤	1685258
	2 剤	255514
	3 剤	35257
	4 剤	5265
	5 剤以上	1195
利尿剤	1 剤	756983
	2 剤	232448
	3 剤	20194
	4 剤	6969
	5 剤以上	177
糖尿病用剤	1 剤	541833
	2 剤	225975
	3 剤	57576
	4 剤	7632
	5 剤以上	588
精神神経用剤	1 剤	1005110
	2 剤	96485
	3 剤	10311
	4 剤以上	1669
その他の血液・体液用薬	1 剤	1672622
	2 剤	206182
	3 剤	3852
	4 剤以上	100
解熱鎮痛消炎剤	1 剤	952182
	2 剤	36016
	3 剤以上	1291
血圧降下剤	1 剤	315823
	2 剤	9664
	3 剤以上	243
消化性潰瘍用剤	1 剤	1066653
	2 剤	23462
	3 剤以上	305
緩下剤	1 剤	1664903
	2 剤	19843
	3 剤以上	218
副腎ホルモン剤	1 剤	268960
	2 剤	20610
	3 剤以上	311
その他の泌尿生殖器官及び 肛門用薬	1 剤	388628
	2 剤	5994
	3 剤以上	110
血液凝固阻止剤	1 剤	528875
	2 剤	129329
	3 剤以上	1190
抗パーキンソン剤	1 剤	910464
	2 剤以上	770
その他の中枢神経系用薬	1 剤	79918
	2 剤以上	1293
強心剤	1 剤	193874
	2 剤以上	674
不整脈用剤	1 剤	67532
	2 剤以上	433
その他の消化器官用薬	1 剤	55521
	2 剤以上	261
抗ヒスタミン剤	1 剤	68431
	2 剤以上	904

集計表④より

#### 5. 4. 特定の疾患群の状況

特に医師の処方時考慮、内服時のアドヒアランス、有害事象発症リスク等との関係が疑われるとされる特定の疾患群(Charlson Comorbidity Index 計上疾患)の診断名のある調剤レセプト枚数をみたものが図表 5-4-1 および図表 5-4-2、各年齢階級別の割合でみたものが図表 5-4-3 および図表 5-4-4 である。今回の集計では疾患群を概観するという目的から、Index に示されている重み付けは行わなかった。

また、ここでは、元の Index では重み付けのために別に分類されている糖尿病と糖尿病合併症、悪性腫瘍と転移性悪性腫瘍、肝疾患と重症肝疾患はそれぞれ糖尿病、悪性腫瘍、肝疾患にまとめて示した。

今回は、プロトコルの定まった抗がん剤は除外して集計しているため、悪性腫瘍患者数は実際をかなり下回って検出されたと想定される。また、この集計では Index に示された疾患のみを抽出したため、高血圧等の疾患は計上していない。

この集計では調剤レセプトから図表 4-3-2 の医薬品を使用した患者の抽出を行っており、複数の薬局を利用した者は重複して計上されているため、実際の患者数より多くなっている。一方で、入院中の患者については当初より対象としていないため、計上されていない。

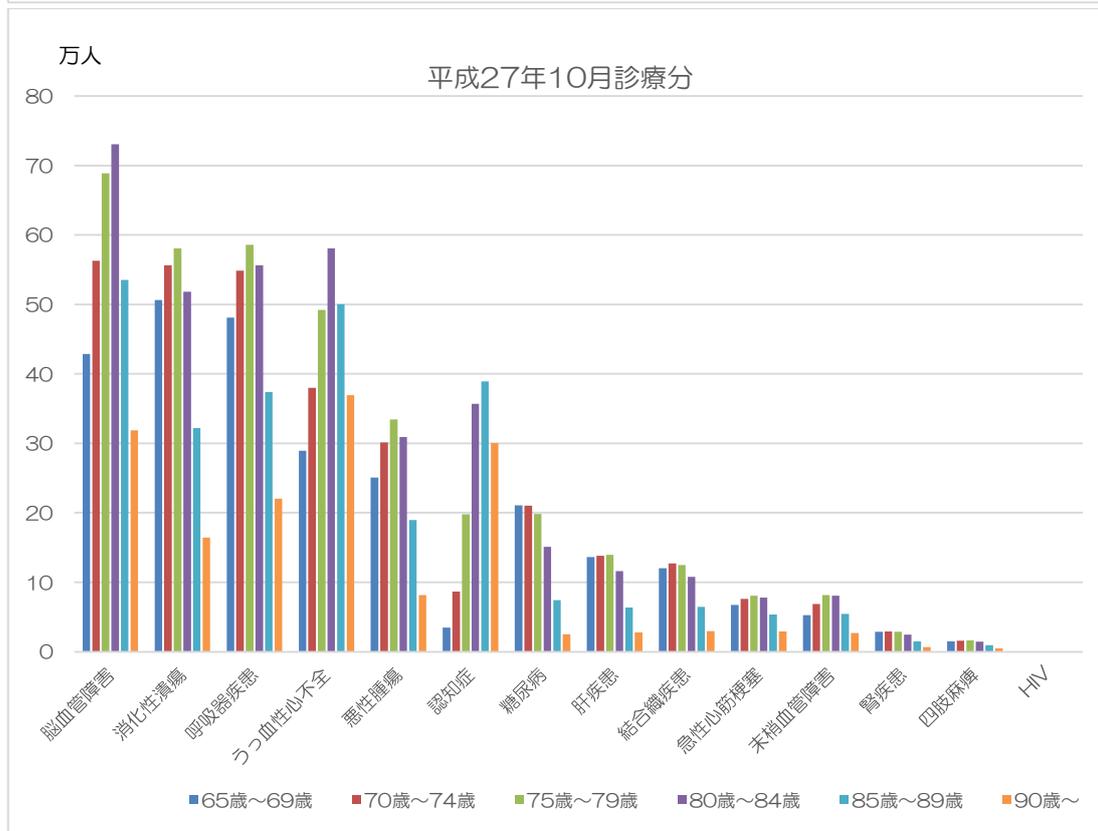
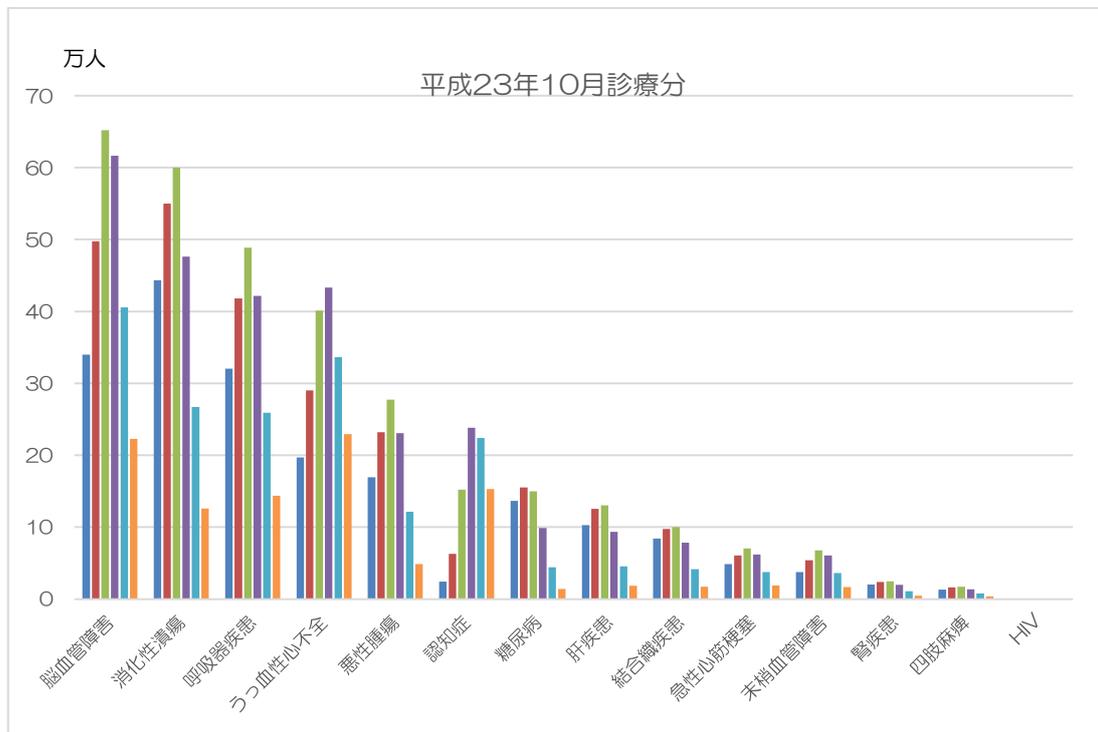
こういった制約はあるものの、全体の傾向として、うっ血性心不全、脳血管障害、認知症、呼吸器疾患は年齢が上がると急速に増加しているとみることができる。

図表 5-4-1 特定の疾患群の状況

特定の疾患群	平成 23 年 10 月診療分					
	65 歳～69 歳	70 歳～74 歳	75 歳～79 歳	80 歳～84 歳	85 歳～89 歳	90 歳～
脳血管障害	340,117	497,689	651,865	616,647	405,870	222,618
消化性潰瘍	443,314	550,013	600,262	476,241	267,026	125,809
呼吸器疾患	320,475	418,299	488,876	421,615	259,164	143,516
うっ血性心不全	196,981	290,185	401,259	433,189	336,587	229,254
悪性腫瘍	169,464	232,105	277,157	230,914	121,424	48,608
認知症	24,466	63,086	152,146	238,233	224,217	153,152
糖尿病	136,435	155,243	149,817	98,879	44,088	14,130
肝疾患	102,749	125,732	130,542	93,362	45,593	18,498
結合織疾患	84,405	97,650	100,299	78,399	41,518	17,185
急性心筋梗塞	48,678	60,638	70,637	62,121	37,804	18,841
末梢血管障害	37,606	53,850	67,663	60,875	36,471	16,706
腎疾患	20,501	23,863	24,854	19,833	10,781	4,916
四肢麻痺	13,298	16,101	17,227	13,438	7,964	4,045
HIV	161	148	128	65	24	10
特定の疾患群	平成 27 年 10 月診療分					
	65 歳～69 歳	70 歳～74 歳	75 歳～79 歳	80 歳～84 歳	85 歳～89 歳	90 歳～
脳血管障害	428673	562735	688930	730541	535295	318572
消化性潰瘍	506386	556576	580859	518474	321833	164435
呼吸器疾患	480893	548741	585784	556187	374139	220247
うっ血性心不全	289234	380142	491850	580623	500400	369373
悪性腫瘍	250959	301431	334518	309041	189701	81526
認知症	34977	86538	197830	356759	389132	300325
糖尿病	210855	210509	198158	151208	74256	25300
肝疾患	136352	138103	139357	115912	63910	27895
結合織疾患	120292	127047	124686	107681	64524	29532
急性心筋梗塞	67620	76120	80741	77992	53542	29393
末梢血管障害	52795	68730	81618	80508	54380	26875
腎疾患	28986	29241	28703	24763	14960	6918
四肢麻痺	14805	16019	16348	14608	9329	5118
HIV	388	301	244	193	75	27

集計表⑦より

図表 5-4-2 特に医師の処方時考慮、内服時のアドヒアランス、有害事象発症リスク等との関係が疑われるとされる特定の疾患群患者数の分布



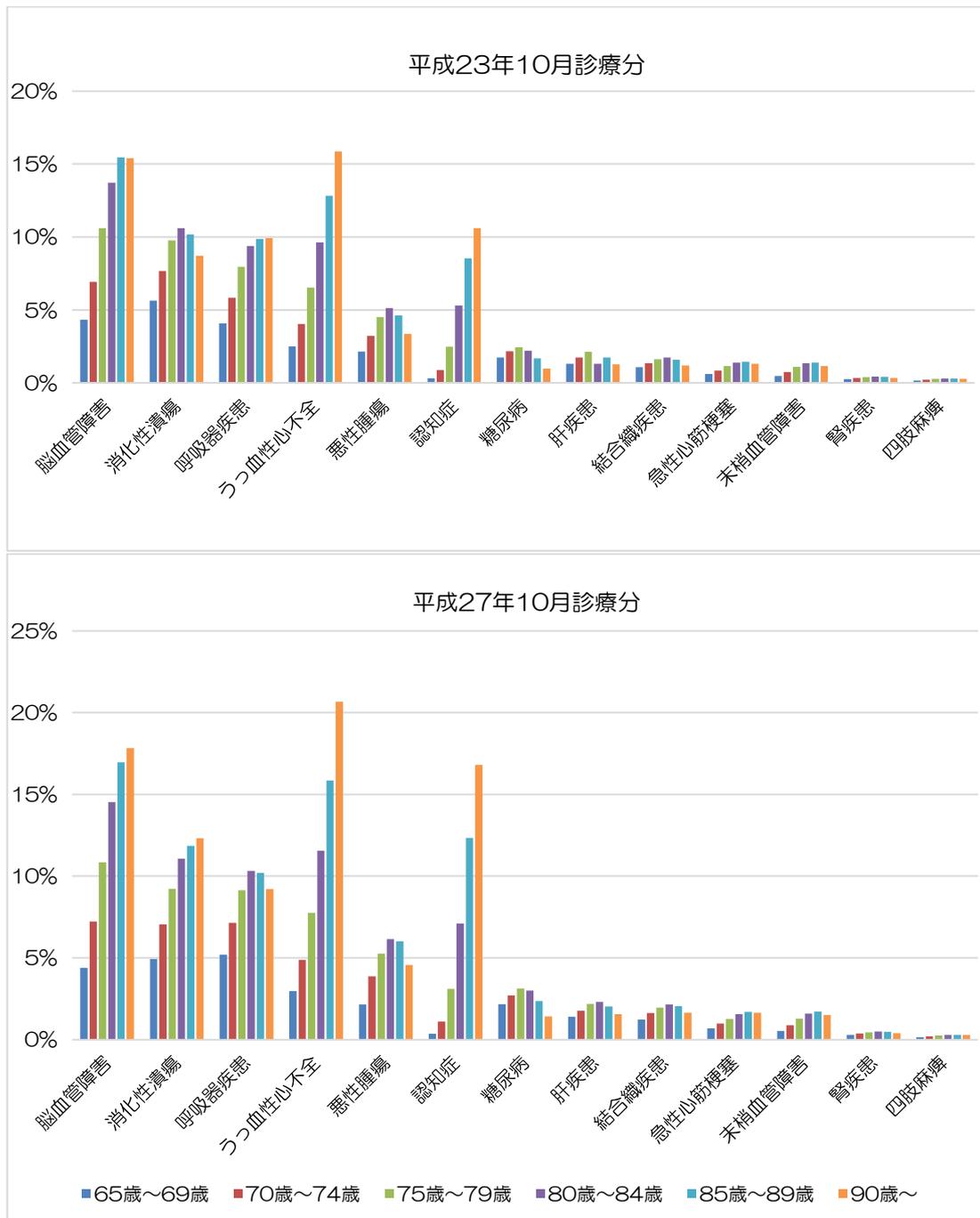
図表 5-4-1 より作成

図表 5-4-3 特に医師の処方時考慮、内服時のアドヒアランス、有害事象発症リスク等との関係が疑われるとされる特定の疾患群患者の年齢階級別人口比

特定疾患群	平成 23 年 10 月診療分					
	65 歳～69 歳	70 歳～74 歳	75 歳～79 歳	80 歳～84 歳	85 歳～89 歳	90 歳～
脳血管障害	4.3%	6.9%	10.6%	13.7%	15.5%	15.4%
消化性潰瘍	5.6%	7.7%	9.8%	10.6%	10.2%	8.7%
呼吸器疾患	4.1%	5.8%	8.0%	9.4%	9.9%	9.9%
うっ血性心不全	2.5%	4.0%	6.5%	9.6%	12.8%	15.9%
悪性腫瘍	2.2%	3.2%	4.5%	5.1%	4.6%	3.4%
認知症	0.3%	0.9%	2.5%	5.3%	8.5%	10.6%
糖尿病	1.7%	2.2%	2.4%	2.2%	1.7%	1.0%
肝疾患	1.3%	1.8%	2.1%	1.3%	1.7%	1.3%
結合織疾患	1.1%	1.4%	1.6%	1.7%	1.6%	1.2%
急性心筋梗塞	0.6%	0.8%	1.1%	1.4%	1.4%	1.3%
末梢血管障害	0.5%	0.7%	1.1%	1.4%	1.4%	1.2%
腎疾患	0.3%	0.3%	0.4%	0.4%	0.4%	0.3%
四肢麻痺	0.2%	0.2%	0.3%	0.3%	0.3%	0.3%
HIV	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
特定疾患群	平成 27 年 10 月診療分					
	65 歳～69 歳	70 歳～74 歳	75 歳～79 歳	80 歳～84 歳	85 歳～89 歳	90 歳～
脳血管障害	4.4%	7.2%	10.8%	14.5%	17.0%	17.8%
消化性潰瘍	4.9%	7.0%	9.2%	11.1%	11.9%	12.3%
呼吸器疾患	5.2%	7.1%	9.1%	10.3%	10.2%	9.2%
うっ血性心不全	3.0%	4.9%	7.7%	11.6%	15.9%	20.7%
悪性腫瘍	2.2%	3.9%	5.3%	6.1%	6.0%	4.6%
認知症	0.4%	1.1%	3.1%	7.1%	12.3%	16.8%
糖尿病	2.2%	2.7%	3.1%	3.0%	2.4%	1.4%
肝疾患	1.4%	1.8%	2.2%	2.3%	2.0%	1.6%
結合織疾患	1.2%	1.6%	2.0%	2.1%	2.0%	1.7%
急性心筋梗塞	0.7%	1.0%	1.3%	1.6%	1.7%	1.6%
末梢血管障害	0.5%	0.9%	1.3%	1.6%	1.7%	1.5%
腎疾患	0.3%	0.4%	0.5%	0.5%	0.5%	0.4%
四肢麻痺	0.2%	0.2%	0.3%	0.3%	0.3%	0.3%
HIV	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

図表 5-4-1 および総務省統計局作成の年齢階級別推計人口より作成

図表 5-4-4 特に医師の処方時考慮、内服時のアドヒアランス、有害事象発症リスク等との関係が疑われるとされる特定の疾患群患者の年齢階級別人口比



図表 5-4-3 より作成

## 6. まとめと考察

### 6.1. 高齢者の医薬品使用の状況

- (1) これまでエビデンスの不十分な高齢者の医薬品使用の実態について、今回、NDB を利用することで、現状の一端を明らかにすることができた。
- (2) 65 歳以上総数において、少なくとも、平成 23 (2011)年 10 月診療分では 46.9%、平成 27 (2015)年 10 月診療分では 50.5%が院外処方での医薬品の調剤を受けていた。
- (3) 日本老年医学会が 75 歳以上の高齢者に対し、特に慎重な投与を要する薬物としてリスト化した STOPP-J 掲載薬効群のうち、催眠鎮静薬・抗不安薬、抗血小板薬・抗凝固薬、緩下剤、利尿剤等については、長期処方可能薬が含まれている薬効群もあることを勘案すると、75 歳以上人口のうち 10%以上の人が調剤を受けていると推定された。
- (4) 服用実態や副反応の状況については NDB から検出することはできず、別のアプローチが必要である。

### 6.2. 集計表提供による NDB データの活用について

- (1) 臨床疫学的アプローチにおいて、レセプト情報の特性をふまえた集計表設計が必須であり、申請時点で設計し終わっていないことが大きな制約である。
- (2) NDB は極めて検出力の高いツールである。第三者提供のうち、集計表情報は、地域差を確認する生態学的研究や、本調査のような疾患や調剤の時系列変化を確認する横断研究として、比較的短期間に結果を得ることのできる有力なツールである。

## 7. 提供された集計表(本編で加工せずそのまま掲載したものを除く)

集計表③

	平成 23 年 10 月診療分					
	65歳~69歳	70歳~74歳	75歳~79歳	80歳~84歳	85歳~89歳	90歳~
催眠薬・抗不安剤	423,128	558,224	633,026	534,552	307,243	141,096
解熱鎮痛消炎剤	314,078	388,227	401,969	310,710	170,257	75,102
抗パーキンソン剤	17,679	17,086	14,455	10,058	5,418	2,461
精神神経用剤	249,580	317,172	366,041	313,286	182,920	85,121
その他の中枢神経系用薬	2,833	6,064	12,072	18,024	17,991	14,488
強心剤	35,777	52,882	71,505	78,345	61,018	40,147
不整脈用剤	8,962	11,407	13,061	10,928	6,049	2,539
利尿剤	83,199	129,672	191,741	228,807	200,957	156,658
血圧降下剤	61,942	80,293	95,615	83,753	49,888	23,690
消化性潰瘍用剤	243,025	317,348	359,162	298,970	178,667	93,098
制酸剤	154,879	259,707	363,836	377,274	279,061	186,912
その他の消化器官用薬	11,022	14,293	16,390	13,775	8,305	4,152
副腎ホルモン剤	91,672	100,100	96,660	73,609	39,786	18,084
その他の泌尿生殖器官及び肛門用薬	39,381	74,821	115,734	122,086	84,602	42,333
血液凝固阻止剤	96,630	133,019	157,974	137,923	77,854	29,525
その他の血液・体液用薬	341,655	477,575	591,654	538,123	335,304	166,682
糖尿病用剤	357,094	385,312	351,975	232,980	108,699	39,191
抗ヒスタミン剤	28,643	32,105	30,068	21,813	12,416	6,320
	平成 27 年 10 月診療分					
	65歳~69歳	70歳~74歳	75歳~79歳	80歳~84歳	85歳~89歳	90歳~
催眠薬・抗不安剤	519,352	625,920	679,904	653,896	431,135	217,554
解熱鎮痛消炎剤	407,865	403,451	385,355	326,621	189,164	88,349
抗パーキンソン剤	24,324	16,990	13,596	9,721	5,195	2,389
精神神経用剤	306,748	335,562	368,793	366,537	249,260	128,985
その他の中枢神経系用薬	3,597	6,617	12,698	22,155	24,867	21,491
強心剤	26,498	37,439	48,947	57,696	50,707	37,198
不整脈用剤	19,191	22,079	24,918	23,055	14,048	5,944
利尿剤	108,211	143,836	205,485	278,591	280,940	246,515
血圧降下剤	94,238	99,749	108,009	105,996	73,188	38,537
消化性潰瘍用剤	317,321	349,202	369,841	348,457	234,585	137,537
制酸剤	215,598	312,497	430,087	505,884	430,422	318,571
その他の消化器官用薬	16,660	18,765	20,192	18,311	11,679	5,600
副腎ホルモン剤	120,757	116,332	109,855	93,740	57,695	28,591
その他の泌尿生殖器官及び肛門用薬	44,280	73,598	106,269	126,842	101,293	60,328
血液凝固阻止剤	138,953	184,283	218,903	219,899	151,109	69,483
その他の血液・体液用薬	397,513	506,834	595,255	613,150	434,314	240,037
糖尿病用剤	470,678	426,535	373,340	273,223	136,407	50,634
抗ヒスタミン剤	32,114	29,648	27,057	22,027	13,275	6,976

集計表④ 10未満のカラムがある場合、小計にまとめて表示し、以下はマスクして表示

特定薬効分類	投与医薬品数	平成 23 年 10 月診療分					
		65歳~69歳	70歳~74歳	75歳~79歳	80歳~84歳	85歳~89歳	90歳~
催眠鎮静剤,抗不安剤	1 剤	344537	463418	530634	454110	266139	125290
	2 剤	61265	75925	84341	68357	35977	14253
	3 剤	13292	14787	14427	10028	4404	1370
	4 剤	2986	3128	2799	1670	602	168
	5 剤以上	1048	966	825	387	121	15
解熱鎮痛消炎剤	1 剤	301858	372452	385242	298432	164272	72913
	2 剤	11743	15159	16055	11816	5799	2134
	3 剤以上	477	616	672	462	186	55
抗パーキンソン剤	1 剤	17069	16576	14141	9866	5329	2439
	2 剤以上	610	510	314	192	89	22
精神神経用剤	1 剤	212429	277711	326453	281633	165897	78059
	2 剤	28992	32581	34285	28418	15518	6545
	3 剤	6202	5570	4474	2858	1360	478
	4 剤以上	1957	1310	829	377	145	39
その他の中枢神経系用薬	1 剤	2795	5995	11919	17815	17737	14357
	2 剤以上	38	69	153	209	254	131
強心剤	1 剤	35549	52559	71089	77940	60723	39978
	2 剤以上	228	323	416	405	295	169
不整脈用剤	1 剤または複数	8962	11407	13061	10928	6049	2539
利尿剤	1 剤	65132	101311	149895	178189	155266	121239
	2 剤	16724	26274	38804	46962	42625	33232
	3 剤	1265	1965	2882	3450	2901	2069
	4 剤以上	78	122	160	206	165	118
血圧降下剤	1 剤	60525	78380	93188	81536	48649	23168
	2 剤以上	1417	1913	2427	2217	1239	522
消化性潰瘍用剤	1 剤	237966	310283	350932	292448	175345	91739
	2 剤以上	5059	7065	8230	6522	3322	1359

集計表④ 10未満のカラムがある場合、小計にまとめて表示し、以下はマスクして表示

特定薬効分類	投与医薬品数	平成23年 10月診療分					
		65歳～69歳	70歳～74歳	75歳～79歳	80歳～84歳	85歳～89歳	90歳～
制酸剤	1剤	153582	257159	359961	373205	275938	184981
	2剤	1282	2517	3833	4020	3085	1917
	3剤以上	15	31	42	49	38	14
その他の消化器官用薬	1剤または複数	11022	14293	16390	13775	8305	4152
副腎ホルモン剤	1剤	86311	94316	91222	69818	37956	17450
	2剤	5298	5726	5377	3750	1812	624
	3剤以上	63	58	61	41	18	10
その他の泌尿生殖器 官及び肛門用薬	1剤	38579	73229	113244	119373	82893	41531
	2剤	778	1549	2437	2640	1673	786
	3剤以上	24	43	53	73	36	16
血液凝固阻止剤	1剤	73277	101528	120940	106691	61056	23946
	2剤	23054	31185	36793	31096	16733	5567
	3剤以上	299	306	241	136	65	12
その他の血液・体液用薬	1剤	294262	415053	519730	480124	305995	156861
	2剤	46682	61459	70710	57057	28910	9714
	3剤以上	711	1063	1214	942	399	107
糖尿病用剤	1剤	206097	227616	215608	150225	74520	28859
	2剤	111305	117359	103009	64049	27572	8627
	3剤	34230	35136	29100	16474	5923	1530
	4剤	5177	4929	4045	2113	647	164
	5剤以上	285	272	213	119	37	11
抗ヒスタミン剤	1剤	28220	31662	29636	21566	12276	6243
	2剤以上	423	443	432	247	140	77

集計表④ 10未満のカラムがある場合、小計にまとめて表示し、以下はマスクして表示

特定薬効分類	投与医薬品数	平成27年 10月診療分					
		65歳~69歳	70歳~74歳	75歳~79歳	80歳~84歳	85歳~89歳	90歳~
催眠鎮静剤・抗不安剤	1剤	413893	516487	568725	553000	371314	192219
	2剤	83244	89837	93193	86621	52760	22940
	3剤	17692	15966	14900	12075	6137	2145
	4剤	3513	2903	2484	1772	786	223
	5剤以上	1010	727	602	428	138	27
	6剤以上	285	189	122	101	27	3
解熱鎮痛消炎剤	1剤	391847	387211	369721	314065	182635	85761
	2剤	15405	15605	15021	12132	6338	2525
	3剤以上	613	635	613	424	191	63
抗パーキンソン剤	1剤	23315	16384	13199	9493	5095	2344
	2剤以上	1009	606	397	228	100	45
精神神経用剤	1剤	256461	293822	329622	330828	226518	118142
	2剤	38443	34192	33713	31999	20736	10037
	3剤	8867	6001	4559	3230	1789	733
	4剤以上	2977	1547	899	480	217	73
その他の中枢神経系用薬	1剤	3545	6520	12500	21778	24490	21150
	2剤以上	52	97	198	377	377	341
強心剤	1剤	26351	37254	48748	57469	50556	37101
	2剤以上	147	185	199	227	151	97
不整脈用剤	1剤	19069	21925	24758	22878	13977	5919
	2剤以上	122	154	160	177	71	25
利尿剤	1剤	82239	109679	156093	210255	209175	181460
	2剤	23918	31332	45202	62375	65286	59585
	3剤	1847	2566	3825	5449	5891	5029
	4剤	193	246	332	457	532	408
	5剤以上	14	13	33	55	56	33
血圧降下剤	1剤	91373	96685	104608	102673	71017	37525
	2剤	2788	2996	3326	3236	2116	986
	3剤以上	77	68	75	87	55	26
消化性潰瘍用剤	1剤	310055	341323	361148	340687	229655	135163
	2剤	7153	7758	8563	7663	4884	2352
	3剤以上	113	121	130	107	46	22

集計表④ 10未満のカラムがある場合、小計にまとめて表示し、以下はマスクして表示

特定薬効分類	投与医薬品数	平成27年 10月診療分					
		65歳~69歳	70歳~74歳	75歳~79歳	80歳~84歳	85歳~89歳	90歳~
制酸剤	1剤	213520	309314	425167	499973	425136	314627
	2剤	2049	3137	4862	5847	5225	3909
	3剤以上	29	46	58	64	61	35
その他の消化器官用薬	1剤	16566	18669	20085	18228	11639	5569
	2剤以上	94	96	107	83	40	31
副腎ホルモン剤	1剤	111452	107305	101358	86731	53799	27072
	2剤	9164	8915	8370	6906	3839	1495
	3剤以上	141	112	127	103	57	24
その他の泌尿生殖器官 及び肛門用薬	1剤	43612	72513	104593	124857	99720	59458
	2剤	656	1065	1637	1947	1553	857
	3剤以上	12	20	39	38	20	13
血液凝固阻止剤	1剤	110039	148671	176253	175799	120780	56043
	2剤	28306	35083	42166	43679	30113	13371
	3剤以上	608	529	484	421	216	69
その他の血液・体液用薬	1剤	337802	434438	517340	541601	390992	222689
	2剤	58597	71020	76426	70187	42496	17073
	3剤	1087	1345	1461	1326	800	265
	4剤以上	27	31	28	36	26	10
糖尿病用剤	1剤	266729	251936	229997	178454	95454	37928
	2剤	147503	129109	108268	73822	33164	10721
	3剤	47310	39022	30406	18403	6960	1807
	4剤	8349	5949	4341	2358	772	161
	5剤以上	787	519	328	186	57	17
抗ヒスタミン剤	1剤	31692	29243	26701	21721	13114	6895
	2剤以上	422	405	356	306	161	81

集計表⑤

平成 23 年 10 月診療分										
	65 歳～69 歳									
	1 剤	2 剤	3 剤	4 剤	5 剤	6 剤	7 剤	8 剤	9 剤	10 剤以上
1 疾患	149,258	70,305	21,674	6,500	2,286	894	370	174	80	181
2 疾患	157,755	130,724	55,947	19,707	7,027	2,517	1,022	438	207	363
3 疾患	125,390	126,299	77,620	36,851	15,221	5,846	2,233	901	461	485
4 疾患	91,801	103,475	78,118	46,358	23,160	10,647	4,372	1,737	782	768
5 疾患	64,810	79,463	67,772	47,105	27,987	14,800	7,004	3,054	1,352	1,189
6 疾患	45,396	58,458	54,687	43,185	29,148	17,381	9,147	4,570	2,069	1,832
7 疾患	31,937	42,246	42,543	36,034	26,938	17,815	10,745	5,673	2,882	2,572
8 疾患	21,973	30,515	32,129	29,104	23,569	16,851	10,869	6,404	3,610	3,471
9 疾患	15,434	21,787	24,060	23,521	19,703	15,048	10,212	6,415	3,777	4,255
10 疾患以上	40,731	56,857	68,203	72,909	71,087	63,154	52,655	40,960	30,481	65,607
	70 歳～74 歳									
	1 剤	2 剤	3 剤	4 剤	5 剤	6 剤	7 剤	8 剤	9 剤	10 剤以上
1 疾患	130,765	62,890	18,946	5,596	1,902	757	355	183	96	206
2 疾患	149,667	123,713	51,701	17,780	6,113	2,166	935	360	163	329
3 疾患	125,655	127,660	78,362	35,810	14,490	5,543	2,140	856	343	513
4 疾患	96,247	109,674	83,360	49,875	24,933	11,000	4,433	1,826	748	792
5 疾患	69,974	86,372	76,148	54,251	32,630	17,097	7,934	3,393	1,373	1,272
6 疾患	50,257	65,522	64,322	52,180	36,337	21,835	11,645	5,661	2,528	2,200
7 疾患	35,813	48,847	51,404	45,856	35,570	23,917	14,327	7,850	3,990	3,436
8 疾患	25,136	35,955	40,083	38,280	32,204	23,813	15,746	9,398	5,148	5,186
9 疾患	18,083	26,343	30,707	31,049	27,622	21,687	15,612	9,964	5,829	6,567
10 疾患以上	51,326	73,283	91,625	104,143	106,577	99,779	86,137	69,159	52,551	113,843
	75 歳～79 歳									
	1 剤	2 剤	3 剤	4 剤	5 剤	6 剤	7 剤	8 剤	9 剤	10 剤以上
1 疾患	98,466	47,662	14,029	4,148	1,473	626	313	163	95	189
2 疾患	121,398	98,180	40,252	13,620	4,707	1,723	628	327	134	314
3 疾患	105,248	105,864	65,096	29,569	11,820	4,366	1,648	634	323	477
4 疾患	83,495	94,656	73,374	44,306	21,949	9,763	3,835	1,581	674	670
5 疾患	62,954	77,820	69,905	52,272	32,062	16,992	7,780	3,415	1,415	1,192
6 疾患	46,898	60,402	61,291	51,949	37,486	23,372	12,407	6,046	2,760	2,239
7 疾患	34,315	46,409	50,552	47,317	38,483	27,232	16,740	9,224	4,560	4,173
8 疾患	25,173	35,196	40,517	41,160	36,130	28,061	19,035	11,624	6,413	6,288
9 疾患	18,154	26,095	31,849	34,330	32,381	26,800	19,876	13,199	8,066	8,900
10 疾患以上	56,948	80,408	103,995	125,218	136,132	134,688	120,717	101,553	80,040	176,027
	80 歳～84 歳									
	1 剤	2 剤	3 剤	4 剤	5 剤	6 剤	7 剤	8 剤	9 剤	10 剤以上
1 疾患	60,055	27,681	7,736	2,316	839	346	202	103	77	161
2 疾患	76,611	59,605	23,965	7,889	2,587	920	381	206	104	181
3 疾患	67,819	66,958	41,235	18,445	6,995	2,615	954	406	213	276
4 疾患	54,183	61,344	48,323	29,864	14,842	6,413	2,661	1,041	438	462
5 疾患	41,954	51,778	47,609	36,163	23,165	12,483	5,789	2,405	1,046	894
6 疾患	31,564	41,162	42,443	37,664	28,821	18,450	9,974	4,819	2,237	1,704
7 疾患	23,763	32,121	36,102	35,416	30,402	22,551	14,124	7,882	3,860	3,295
8 疾患	17,738	24,551	30,089	31,794	29,608	24,201	16,935	10,665	5,687	5,755
9 疾患	13,073	18,685	23,520	26,706	27,000	23,574	18,305	12,451	7,415	8,523
10 疾患以上	45,090	61,233	83,005	104,699	120,199	125,426	118,226	101,946	81,531	184,047
	85 歳～89 歳									
	1 剤	2 剤	3 剤	4 剤	5 剤	6 剤	7 剤	8 剤	9 剤	10 剤以上
1 疾患	27,942	12,451	3,345	952	361	200	112	71	42	82
2 疾患	36,498	27,072	10,340	3,386	1,181	409	206	101	41	109
3 疾患	31,933	31,602	18,910	8,587	3,229	1,209	475	205	105	146
4 疾患	26,028	29,296	23,298	14,852	7,540	3,340	1,239	489	223	238
5 疾患	20,681	24,891	23,678	18,931	12,416	6,756	2,974	1,378	563	438
6 疾患	15,565	20,590	22,009	20,429	15,954	10,517	5,557	2,828	1,301	948
7 疾患	12,044	16,316	19,143	19,995	17,420	13,345	8,406	4,762	2,329	1,932
8 疾患	9,072	12,562	16,039	17,918	17,666	14,597	10,504	6,541	3,633	3,355
9 疾患	6,923	9,786	13,153	15,666	16,117	14,778	11,344	7,705	4,846	5,111
10 疾患以上	24,968	34,162	46,692	62,649	75,095	80,476	77,726	68,220	54,425	120,071
	90 歳～									
	1 剤	2 剤	3 剤	4 剤	5 剤	6 剤	7 剤	8 剤	9 剤	10 剤以上
1 疾患	11,218	4,483	1,164	369	155	103	57	47	33	50
2 疾患	14,516	10,136	3,772	1,131	411	156	80	49	33	33
3 疾患	13,065	12,266	7,611	3,298	1,280	517	218	77	48	59
4 疾患	10,821	12,304	10,091	6,478	3,416	1,464	560	234	106	105
5 疾患	9,071	11,246	11,014	8,723	5,983	3,129	1,353	581	238	175
6 疾患	7,319	9,668	10,776	10,205	7,843	5,071	2,708	1,340	546	413
7 疾患	5,785	8,044	9,909	10,303	8,873	6,699	4,171	2,327	1,070	823
8 疾患	4,680	6,518	8,549	9,447	9,168	7,569	5,299	3,180	1,705	1,504
9 疾患	3,578	5,370	7,139	8,322	8,692	7,533	5,953	3,778	2,322	2,264
10 疾患以上	13,829	18,720	26,790	35,010	41,462	43,729	40,790	34,034	26,651	52,795

集計表⑤(つづき)

平成 27 年 10 月診療分										
	65 歳～69 歳									
	1 剤	2 剤	3 剤	4 剤	5 剤	6 剤	7 剤	8 剤	9 剤	10 剤以上
1 疾患	149,258	70,305	21,674	6,500	2,286	894	370	174	80	181
2 疾患	157,755	130,724	55,947	19,707	7,027	2,517	1,022	438	207	363
3 疾患	125,390	126,299	77,620	36,851	15,221	5,846	2,233	901	461	485
4 疾患	91,801	103,475	78,118	46,358	23,160	10,647	4,372	1,737	782	768
5 疾患	64,810	79,463	67,772	47,105	27,987	14,800	7,004	3,054	1,352	1,189
6 疾患	45,396	53,458	54,687	43,185	29,148	17,381	9,147	4,570	2,069	1,832
7 疾患	31,937	42,246	42,543	36,034	26,938	17,815	10,745	5,673	2,882	2,572
8 疾患	21,973	30,515	32,129	29,104	23,569	16,851	10,869	6,404	3,610	3,471
9 疾患	15,434	21,787	24,060	23,521	19,703	15,048	10,212	6,415	3,777	4,255
10 疾患以上	40,731	56,857	68,203	72,909	71,087	63,154	52,655	40,960	30,481	65,607
	70 歳～74 歳									
	1 剤	2 剤	3 剤	4 剤	5 剤	6 剤	7 剤	8 剤	9 剤	10 剤以上
1 疾患	130,765	62,890	18,946	5,596	1,902	757	355	183	96	206
2 疾患	149,667	123,713	51,701	17,780	6,113	2,166	935	360	163	329
3 疾患	125,655	127,660	78,362	35,810	14,490	5,543	2,140	856	343	513
4 疾患	96,247	109,674	83,360	49,875	24,933	11,000	4,433	1,826	748	792
5 疾患	69,974	86,372	76,148	54,251	32,630	17,097	7,934	3,393	1,373	1,272
6 疾患	50,257	65,522	64,322	52,180	36,337	21,835	11,645	5,661	2,528	2,200
7 疾患	35,813	48,847	51,404	45,856	35,570	23,917	14,327	7,850	3,990	3,436
8 疾患	25,136	35,955	40,083	38,280	32,204	23,813	15,746	9,398	5,148	5,186
9 疾患	18,083	26,343	30,707	31,049	27,622	21,687	15,612	9,964	5,829	6,567
10 疾患以上	51,326	73,283	91,625	104,143	106,577	99,779	86,137	69,159	52,551	113,843
	75 歳～79 歳									
	1 剤	2 剤	3 剤	4 剤	5 剤	6 剤	7 剤	8 剤	9 剤	10 剤以上
1 疾患	98,466	47,662	14,029	4,148	1,473	626	313	163	95	189
2 疾患	121,398	98,180	40,252	13,620	4,707	1,723	628	327	134	314
3 疾患	105,248	105,864	65,096	29,569	11,820	4,366	1,648	634	323	477
4 疾患	83,495	94,656	73,374	44,306	21,949	9,763	3,835	1,581	674	670
5 疾患	62,954	77,820	69,905	52,272	32,062	16,992	7,780	3,415	1,415	1,192
6 疾患	46,898	60,402	61,291	51,949	37,486	23,372	12,407	6,046	2,760	2,239
7 疾患	34,315	46,409	50,552	47,317	38,483	27,232	16,740	9,224	4,560	4,173
8 疾患	25,173	35,196	40,517	41,160	36,130	28,061	19,035	11,624	6,413	6,288
9 疾患	18,154	26,095	31,849	34,330	32,381	26,800	19,876	13,199	8,066	8,900
10 疾患以上	56,948	80,408	103,995	125,218	136,132	134,688	120,717	101,553	80,040	176,027
	80 歳～84 歳									
	1 剤	2 剤	3 剤	4 剤	5 剤	6 剤	7 剤	8 剤	9 剤	10 剤以上
1 疾患	60,055	27,681	7,736	2,316	839	346	202	103	77	161
2 疾患	76,611	59,605	23,965	7,889	2,587	920	381	206	104	181
3 疾患	67,819	66,958	41,235	18,445	6,995	2,615	954	406	213	276
4 疾患	54,183	61,344	48,323	29,864	14,842	6,413	2,661	1,041	438	462
5 疾患	41,954	51,778	47,609	36,163	23,165	12,483	5,789	2,405	1,046	894
6 疾患	31,564	41,162	42,443	37,664	28,821	18,450	9,974	4,819	2,237	1,704
7 疾患	23,763	32,121	36,102	35,416	30,402	22,551	14,124	7,882	3,860	3,295
8 疾患	17,738	24,551	30,089	31,794	29,608	24,201	16,935	10,665	5,687	5,755
9 疾患	13,073	18,685	23,520	26,706	27,000	23,574	18,305	12,451	7,415	8,523
10 疾患以上	45,090	61,233	83,005	104,699	120,199	125,426	118,226	101,946	81,531	184,047
	85 歳～89 歳									
	1 剤	2 剤	3 剤	4 剤	5 剤	6 剤	7 剤	8 剤	9 剤	10 剤以上
1 疾患	27,942	12,451	3,345	952	361	200	112	71	42	82
2 疾患	36,498	27,072	10,340	3,386	1,181	409	206	101	41	109
3 疾患	31,933	31,602	18,910	8,587	3,229	1,209	475	205	105	146
4 疾患	26,028	29,296	23,298	14,852	7,540	3,340	1,239	489	223	238
5 疾患	20,681	24,891	23,678	18,931	12,416	6,756	2,974	1,378	563	438
6 疾患	15,565	20,590	22,009	20,429	15,954	10,517	5,557	2,828	1,301	948
7 疾患	12,044	16,316	19,143	19,995	17,420	13,345	8,406	4,762	2,329	1,932
8 疾患	9,072	12,562	16,039	17,918	17,666	14,597	10,504	6,541	3,633	3,355
9 疾患	6,923	9,786	13,153	15,666	16,117	14,778	11,344	7,705	4,846	5,111
10 疾患以上	24,968	34,162	46,692	62,649	75,095	80,476	77,726	68,220	54,425	120,071
	90 歳～									
	1 剤	2 剤	3 剤	4 剤	5 剤	6 剤	7 剤	8 剤	9 剤	10 剤以上
1 疾患	11,218	4,483	1,164	369	155	103	57	47	33	50
2 疾患	14,516	10,136	3,772	1,131	411	156	80	49	33	33
3 疾患	13,065	12,266	7,611	3,298	1,280	517	218	77	48	59
4 疾患	10,821	12,304	10,091	6,478	3,416	1,464	560	234	106	105
5 疾患	9,071	11,246	11,014	8,723	5,983	3,129	1,353	581	238	175
6 疾患	7,319	9,668	10,776	10,205	7,843	5,071	2,708	1,340	546	413
7 疾患	5,785	8,044	9,909	10,303	8,873	6,699	4,171	2,327	1,070	823
8 疾患	4,680	6,518	8,549	9,447	9,168	7,569	5,299	3,180	1,705	1,504
9 疾患	3,578	5,370	7,139	8,322	8,692	7,533	5,953	3,778	2,322	2,264
10 疾患以上	13,829	18,720	26,790	35,010	41,462	43,729	40,790	34,034	26,651	52,795

集計表⑥

平成23年 10月診療分										
65歳～69歳										
	1剤	2剤	3剤	4剤	5剤	6剤	7剤	8剤	9剤	10剤以上
1疾患	117923	55919	17596	5603	1961	803	340	150	70	140
2疾患	119865	104206	47349	17494	6520	2409	1005	461	217	280
3疾患	94250	101305	66723	33843	14751	5845	2308	953	487	464
4疾患	68312	83692	68247	43059	22715	11016	4763	1922	871	843
5疾患	47405	64483	59810	44557	27924	15514	7701	3542	1605	1453
6疾患	33124	47470	48646	40738	29005	18083	10022	5208	2480	2312
7疾患	23177	34650	37978	34539	27004	18666	11681	6553	3477	3394
8疾患	15735	24918	28991	28123	23971	17871	11941	7310	4198	4655
9疾患	11084	17764	21640	22371	19919	15938	11273	7351	4490	5411
10疾患以上	28485	45932	61820	71327	73928	68753	60280	48306	37562	88654
70歳～74歳										
	1剤	2剤	3剤	4剤	5剤	6剤	7剤	8剤	9剤	10剤以上
1疾患	92203	44877	14203	4459	1551	643	305	140	74	126
2疾患	101100	89731	40236	14919	5419	2011	879	360	170	263
3疾患	84209	93229	62739	31290	13560	5469	2212	917	376	446
4疾患	63708	80860	67985	43933	23581	11235	4833	1983	854	774
5疾患	45850	64091	62616	48606	31213	17245	8414	3921	1676	1524
6疾患	32796	49486	54096	47160	34814	22309	12340	6332	3058	2699
7疾患	23300	36842	43732	41964	34548	24366	15278	8760	4614	4432
8疾患	16402	27485	34103	35490	31302	24317	16709	10384	5880	6277
9疾患	11813	20245	26697	28764	27437	22322	16778	11045	6836	8292
10疾患以上	33121	56163	80199	99333	108552	107210	97471	82012	64594	157991
75歳～79歳										
	1剤	2剤	3剤	4剤	5剤	6剤	7剤	8剤	9剤	10剤以上
1疾患	60615	30735	9589	3050	1131	499	242	148	56	119
2疾患	72015	64092	28933	10754	4026	1591	619	291	146	254
3疾患	62072	69842	48290	24119	10476	4223	1737	677	322	362
4疾患	48741	63471	55665	37054	20142	9760	4081	1767	775	693
5疾患	36807	52844	54010	44366	29473	16848	8207	3860	1665	1464
6疾患	27401	41658	48026	44570	34365	22571	12973	6609	3192	2793
7疾患	19987	32500	40443	40986	35664	26707	17143	10069	5160	4925
8疾患	15019	25076	32575	36422	33828	27397	19881	12557	7124	7635
9疾患	10915	18879	26059	30714	30471	26442	20334	14072	8917	10718
10疾患以上	34118	58407	86975	115001	133491	139893	132228	115850	95098	240445
80歳～84歳										
	1剤	2剤	3剤	4剤	5剤	6剤	7剤	8剤	9剤	10剤以上
1疾患	34078	16949	5133	1773	679	297	148	126	46	82
2疾患	42247	37013	16985	6237	2170	882	393	200	136	161
3疾患	37324	42196	29789	14953	6398	2688	1108	476	222	261
4疾患	29924	39381	35653	24905	13886	6521	2873	1192	538	517
5疾患	23336	33983	36213	30292	20984	12246	6198	2802	1257	1090
6疾患	17551	27585	32724	31874	26328	17755	10175	5361	2579	2132
7疾患	13229	21620	28286	30236	27726	21574	14425	8292	4229	4030
8疾患	10048	16998	23754	27405	27107	23129	16889	11070	6286	6740
9疾患	7444	12973	18793	23252	24827	22344	18154	12796	7955	9776
10疾患以上	26888	43820	67751	93400	113780	125280	123514	111301	92737	239459
85歳～89歳										
	1剤	2剤	3剤	4剤	5剤	6剤	7剤	8剤	9剤	10剤以上
1疾患	15820	7841	2351	749	359	177	115	57	33	57
2疾患	20479	17315	7735	2873	1139	464	228	138	73	92
3疾患	17934	20621	14384	7478	3198	1363	564	232	110	164
4疾患	14722	19498	18167	12838	7232	3552	1450	613	303	293
5疾患	11738	17063	18721	16567	11714	6918	3336	1643	731	585
6疾患	9078	14274	17677	17816	14846	10414	5979	3142	1542	1227
7疾患	7047	11487	15526	17616	16357	12889	8659	5066	2628	2320
8疾患	5396	9075	13167	15688	16263	14221	10526	6741	3948	3930
9疾患	4239	7219	10701	13653	14797	13976	11204	7910	5170	5871
10疾患以上	15344	25236	38729	55738	70347	78486	78862	71474	59289	146188
90歳～										
	1剤	2剤	3剤	4剤	5剤	6剤	7剤	8剤	9剤	10剤以上
1疾患	6990	3088	898	313	165	86	59	34	26	29
2疾患	9038	7244	3223	1169	477	212	120	61	41	40
3疾患	8475	9148	6683	3272	1512	653	274	141	67	79
4疾患	7320	9484	8723	6297	3488	1647	708	306	138	114
5疾患	6214	8909	9751	8384	6090	3388	1604	704	322	244
6疾患	5066	7736	9591	9612	7731	5299	2938	1557	666	549
7疾患	4124	6547	8714	9540	8673	6713	4504	2529	1240	1039
8疾患	3311	5330	7574	8688	8800	7528	5418	3289	1889	1746
9疾患	2663	4464	6245	7802	8355	7418	5940	4072	2504	2702
10疾患以上	9763	15108	23400	31742	38906	42088	40153	34621	27959	60017

集計表⑥(つづき)

平成27年 10月診療分										
65歳~69歳										
	1剤	2剤	3剤	4剤	5剤	6剤	7剤	8剤	9剤	10剤以上
1疾患	155059	69419	20542	6165	1904	714	276	142	63	102
2疾患	145409	142330	64834	24029	8771	3030	1066	474	187	283
3疾患	111935	133731	94402	49139	22239	9044	3321	1290	533	520
4疾患	79369	105987	92258	63034	34854	16708	7333	3131	1325	1044
5疾患	55593	80874	79575	63056	42018	24028	12095	5674	2505	2047
6疾患	39261	59665	64231	56640	42914	28133	16028	8392	4258	3657
7疾患	27525	43374	49692	47814	39722	28851	18446	10758	5772	5818
8疾患	19111	31693	38361	39023	34488	26986	18901	12136	6962	7957
9疾患	13748	22656	28804	30741	28967	23911	17760	12336	7980	9703
10疾患以上	39437	65305	87573	105013	111429	108976	97951	82862	66669	173141
70歳~74歳										
	1剤	2剤	3剤	4剤	5剤	6剤	7剤	8剤	9剤	10剤以上
1疾患	100971	45604	12790	3839	1176	415	164	73	51	80
2疾患	105671	101436	43909	15480	5436	1869	702	278	122	184
3疾患	86164	103105	71288	35732	15176	5982	2220	778	320	367
4疾患	64639	87952	76369	51275	27586	12810	5461	2171	848	703
5疾患	47299	69568	69572	56184	37559	21220	10414	4493	1966	1537
6疾患	34347	53635	59639	54073	41183	27030	15365	7799	3660	3162
7疾患	24688	40729	48945	48236	40859	29958	19155	11009	5754	5273
8疾患	17984	30664	38648	41179	37545	30099	20989	13358	7501	8106
9疾患	13620	22798	30382	34191	32783	28136	20962	14533	9214	11012
10疾患以上	42336	71465	102082	127944	143769	145961	135784	117808	96290	256552
75歳~79歳										
	1剤	2剤	3剤	4剤	5剤	6剤	7剤	8剤	9剤	10剤以上
1疾患	63295	28884	8010	2278	731	268	100	47	33	58
2疾患	71883	68394	28943	10259	3285	1107	373	148	88	122
3疾患	61281	74426	51837	25717	10503	4076	1402	516	218	255
4疾患	47674	65598	59103	40310	21469	9759	4150	1615	605	507
5疾患	35825	54104	56247	47236	31827	17822	8374	3773	1556	1194
6疾患	26956	42760	50335	47440	37332	25156	14101	7118	3369	2638
7疾患	20031	33344	41606	43882	38941	29066	18902	10816	5855	5125
8疾患	14914	25545	34352	38390	36620	30760	22234	14264	8154	8389
9疾患	11175	20027	27436	32642	33236	29877	23322	16435	10182	12154
10疾患以上	40505	68634	101359	134625	160069	171564	167778	150518	127567	359766
80歳~84歳										
	1剤	2剤	3剤	4剤	5剤	6剤	7剤	8剤	9剤	10剤以上
1疾患	36665	17052	4371	1230	440	160	69	43	13	40
2疾患	44804	41975	17728	6018	1914	710	247	104	51	74
3疾患	38872	47338	33279	16796	6677	2417	927	303	119	135
4疾患	30881	42959	39852	28491	15403	6836	2803	1098	378	331
5疾患	24348	36340	39556	34755	24456	13860	6583	2979	1186	877
6疾患	18450	29547	35795	36232	29771	20601	12153	6113	2758	2049
7疾患	14096	23535	30727	34330	32104	25293	17095	9946	5194	4448
8疾患	10912	18319	26069	30650	31148	27672	20977	13756	7923	8024
9疾患	8317	14287	20987	26169	28838	27187	22434	16529	10429	12450
10疾患以上	33830	54589	83017	115846	146108	166497	171336	161000	141662	414125
85歳~89歳										
	1剤	2剤	3剤	4剤	5剤	6剤	7剤	8剤	9剤	10剤以上
1疾患	17552	7885	1930	511	170	83	39	20	12	30
2疾患	22238	20030	8137	2661	885	289	112	63	19	45
3疾患	19401	23233	16669	8324	3320	1204	451	161	62	93
4疾患	15952	21734	20827	15377	8548	3785	1549	603	200	181
5疾患	12512	18631	21550	19700	14205	8430	4055	1750	707	464
6疾患	9745	15580	19633	20894	18373	13212	7850	3942	1777	1280
7疾患	7771	12628	17345	20226	20013	16647	11548	6827	3584	2945
8疾患	5947	10020	14602	18495	20032	18233	14333	9577	5587	5538
9疾患	4629	7970	12179	16083	18483	18391	15577	11632	7536	8966
10疾患以上	21071	32208	49076	71411	95404	113964	120913	117210	104335	302690
90歳~										
	1剤	2剤	3剤	4剤	5剤	6剤	7剤	8剤	9剤	10剤以上
1疾患	7567	3055	767	233	89	36	27	15	10	18
2疾患	9970	8582	3487	1169	365	125	59	25	19	16
3疾患	9101	10801	7821	3979	1538	583	222	86	30	46
4疾患	7749	10798	10485	7695	4388	2010	729	297	104	101
5疾患	6549	9807	11247	10522	7612	4405	2113	935	370	207
6疾患	5381	8477	10663	11732	10382	7490	4382	2132	899	639
7疾患	4490	7119	9876	11673	11665	9626	6637	3827	1933	1422
8疾患	3575	5792	8572	10779	11846	10736	8458	5622	3186	2814
9疾患	2978	4809	7317	9714	11232	11172	9401	6902	4368	4718
10疾患以上	13748	19740	30140	43437	57297	67594	71057	67107	58267	149510

集計表⑦

特定の疾患群	平成 23 年 10 月診療分					
	65 歳～69 歳	70 歳～74 歳	75 歳～79 歳	80 歳～84 歳	85 歳～89 歳	90 歳～
急性心筋梗塞	48678	60638	70637	62121	37804	18841
うっ血性心不全	196981	290185	401259	433189	336587	229254
末梢血管障害	37606	53850	67663	60875	36471	16706
脳血管障害	340117	497689	651865	616647	405870	222618
認知症	24466	63086	152146	238233	224217	153152
呼吸器疾患	320475	418299	488876	421615	259164	143516
結合織疾患	84405	97650	100299	78399	41518	17185
消化性潰瘍	443314	550013	600262	476241	267026	125809
肝疾患	96988	118179	122312	87951	43450	17751
糖尿病	16771	19426	19139	12480	5289	1656
糖尿病合併症	119664	135817	130678	86399	38799	12474
四肢麻痺	13298	16101	17227	13438	7964	4045
腎疾患	20501	23863	24854	19833	10781	4916
悪性腫瘍	149950	208986	254384	215116	114603	46317
転移性悪性腫瘍	19514	23119	22773	15798	6821	2291
重症肝疾患	5761	7553	8230	5411	2143	747
HIV	161	148	128	65	24	10
特定の疾患群	平成 27 年 10 月診療分					
	65 歳～69 歳	70 歳～74 歳	75 歳～79 歳	80 歳～84 歳	85 歳～89 歳	90 歳～
急性心筋梗塞	67620	76120	80741	77992	53542	29393
うっ血性心不全	289234	380142	491850	580623	500400	369373
末梢血管障害	52795	68730	81618	80508	54380	26875
脳血管障害	428673	562735	688930	730541	535295	318572
認知症	34977	86538	197830	356759	389132	300325
呼吸器疾患	480893	548741	585784	556187	374139	220247
結合織疾患	120292	127047	124686	107681	64524	29532
消化性潰瘍	506386	556576	580859	518474	321833	164435
肝疾患	129702	131072	131787	109593	60748	26769
糖尿病	34754	36196	34872	26972	13294	4531
糖尿病合併症	176101	174313	163286	124236	60962	20769
四肢麻痺	14805	16019	16348	14608	9329	5118
腎疾患	28986	29241	28703	24763	14960	6918
悪性腫瘍	218595	268196	303834	285725	178227	77567
転移性悪性腫瘍	32364	33235	30684	23316	11474	3959
重症肝疾患	6650	7031	7570	6319	3162	1126
HIV	388	301	244	193	75	27

## 8. 関連資料

- 厚生労働省 レセプト情報・特定健診等情報の提供に関するガイドライン  
<http://www.mhlw.go.jp/file/05-Shingikai-12401000-Hokenkyoku-Soumuka/000135460.pdf>
- 厚生労働省 レセプト情報・特定健診等情報データベースの第三者提供 ー利用を検討している方々へのマニュアルー(第2版)  
<http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-12400000-Hokenkyoku/0000117728.pdf>
- 日本老年医学会 高齢者の安全な薬物療法ガイドライン 2015  
[https://www.jpn-geriat-soc.or.jp/info/topics/pdf/20170808\\_01.pdf](https://www.jpn-geriat-soc.or.jp/info/topics/pdf/20170808_01.pdf)
- 日本医師会 超高齢社会におけるかかりつけ医のための適正処方の手引き  
[http://dl.med.or.jp/dl-med/chiiki/tebiki/H2909\\_shohou\\_tebiki.pdf](http://dl.med.or.jp/dl-med/chiiki/tebiki/H2909_shohou_tebiki.pdf)